ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health , Labour and Welfare

Press Release

報道関係者　　各位

令和２年８月 28 日
【照会先】保険局調査課
課長　　西岡　隆　（内線：3291）
医療費解析官　八郷　秀之（内線：3375）
担当係　　医療機関医療費係（内線：3298）
電話　：03-5253-1111（代表）
　　03-3595-2579（直通）

「令和元年度　調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表します

厚生労働省では、毎月、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に把握するため、電算処理分のレセプトを集計した「調剤医療費(電算処理分)の動向」を公表しています。

このたび、令和元年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

【調査結果のポイント】

○　令和元年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は７兆 7,025 億円（伸び率＋3.7%）であり、処方箋１枚当たり調剤医療費は 9,184 円（伸び率＋3.8%）であった。

その内訳は、技術料が１兆 9,771 億円（伸び率＋2.4%）、薬剤料が５兆 7,114 億円（＋4.2%）、特定保険医療材料料が 140 億円（伸び率＋4.4%）であり、薬剤料のうち、後発医薬品が１兆 959 億円（伸び率＋7.0%）であった。【表１、表２】

○　処方箋１枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75 歳以上では 10,965 円と、０歳以上５歳未満の 3,281 円の約 3.34 倍であった。【表３】

○　後発医薬品割合は、令和元年度末の数量ベース（新指標）で 80.4%（伸び幅＋2.8%）、数量ベース（旧指標）で 55.4%（伸び幅＋1.5%）、薬剤料ベースで 18.6%（伸び幅▲1.0%）であり、後発医薬品調剤率が 75.7%（伸び幅＋2.0%）であった。【表４】

○　内服薬の処方せん１枚当たり薬剤料の伸び率は＋3.9%となっており、この伸び率を「処方せん１枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「１種類当たり投薬日数の伸び率」、「１種類１日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々▲0.3%、＋3.6%、＋0.5%であった。【表５】

○　令和元年度の調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科では病院が３兆 2,016 億円（＋5.0%）、診療所が４兆 4,760 億円（2.8%）であり、令和元年度末の後発医薬品割合は、数量ベース（新指標）で、病院が 81.0%（伸び幅＋2.9%）、診療所が 80.1%（伸び幅＋2.7%）であった。また、制度別でみた場合、最も高かったのは公費の 89.8%（伸び幅＋1.7%）、最も低かったのが後期高齢者で 78.6%（伸び幅＋3.1%）であった。【表１４、表１５】

○　令和元年度末の後発医薬品割合を、数量ベース（新指標）の算出対象となる医薬品について、薬効大分類別にみると、薬効大分類別の構成割合が最も大きい循環器官用薬は 82.9%、次いで大きい消化器官用薬は 89.0%であった。【表１６】

「令和元年度　調剤医療費(電算処理分)の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。
ホームページアドレス(http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/database/)

調剤医療費（電算処理分）の動向の概要
～令和元年度版～

1．調剤医療費の全数と電算処理分の比較

令和元年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は7兆7,025 億円（対前年度同期比（伸び率という。以下同じ）＋3.7%）で、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,184円（＋3.8%）であった。

なお、電算処理割合は、平成21年度以降、医療費ベース、処方箋枚数ベースともに99%に達しており、処方箋1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1%程度となっている。

表1　調剤医療費総額、処方箋枚数及び処方箋1枚当たり調剤医療費

		実数							対前年度比（%）					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全数	調剤医療費（億円）	70,380	71,987	78,746	74,953	77,129	74,746	77,464	2.3	9.4	▲ 4.8	2.9	▲ 3.1	3.6
	処方箋枚数（万枚）	79,430	80,831	82,372	82,999	83,886	84,361	84,284	1.8	1.9	0.8	1.1	0.6	▲ 0.1
	1枚当たり調剤医療費（円）	8,861	8,906	9,560	9,031	9,195	8,860	9,191	0.5	7.3	▲ 5.5	1.8	▲ 3.6	3.7
電算処理分	調剤医療費（億円）	69,933	71,515	78,192	74,395	76,664	74,279	77,025	2.3	9.3	▲ 4.9	3.1	▲ 3.1	3.7
	電算化率（%）	99.4	99.3	99.3	99.3	99.4	99.4	99.4	―	―	―	―	―	―
	処方箋枚数（万枚）	78,958	80,359	81,912	82,527	83,445	83,930	83,869	1.8	1.9	0.8	1.1	0.6	▲ 0.1
	電算化率（%）	99.4	99.4	99.4	99.4	99.5	99.5	99.5	―	―	―	―	―	―
	1枚当たり調剤医療費（円）	8,857	8,899	9,546	9,015	9,187	8,850	9,184	0.5	7.3	▲ 5.6	1.9	▲ 3.7	3.8
	電算処理分／全数	1.000	0.999	0.999	0.998	0.999	0.999	0.999	―	―	―	―	―	―

2. 調剤医療費の内訳

調剤医療費の内訳は、技術料が1兆9,771億円（伸び率＋2.4%）、薬剤料が5兆7,114億円（＋4.2%）で、特定保険医療材料料が140億円（＋4.4%）であった。

処方箋1枚当たり調剤医療費は9,184円（伸び率＋3.8%）で、その内訳は、技術料が2,357円（＋2.5%）、薬剤料が6,810円（＋4.2%）で、特定保険医療材料料が17円（＋4.4%）であった。

構成割合は技術料が25.7%、薬剤料が74.1%、特定保険医療材料料が0.2%であった。

表2-1 調剤医療費の内訳 （総額）

	実数（億円）							対前年度比（%）					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
調剤医療費	69,933	71,515	78,192	74,395	76,664	74,279	77,025	2.3	9.3	▲ 4.9	3.1	▲ 3.1	3.7
技術料	17,371	17,682	18,283	18,490	19,122	19,311	19,771	1.8	3.4	1.1	3.4	1.0	2.4
調剤技術料	14,205	14,572	15,122	14,834	15,423	15,294	15,773	2.6	3.8	▲ 1.9	4.0	▲ 0.8	3.1
調剤基本料	4,897	4,988	5,336	5,055	5,478	5,336	5,666	1.9	7.0	▲ 5.3	8.4	▲ 2.6	6.2
調剤料	8,065	8,257	8,425	8,415	8,554	8,548	8,649	2.4	2.0	▲ 0.1	1.7	▲ 0.1	1.2
加算料	1,243	1,327	1,361	1,364	1,391	1,411	1,458	6.7	2.6	0.2	2.0	1.4	3.3
薬学管理料	3,166	3,110	3,161	3,656	3,699	4,016	3,998	▲ 1.8	1.6	15.7	1.2	8.6	▲ 0.5
薬剤料	52,444	53,711	59,783	55,778	57,413	54,834	57,114	2.4	11.3	▲ 6.7	2.9	▲ 4.5	4.2
内服薬薬剤料	43,755	44,460	49,762	45,838	46,712	44,346	46,021	1.6	11.9	▲ 7.9	1.9	▲ 5.1	3.8
屯服薬他薬剤料	382	384	396	378	381	344	344	0.4	3.1	▲ 4.4	0.9	▲ 9.9	0.2
注射薬薬剤料	1,959	2,208	2,461	2,563	2,884	3,052	3,551	12.7	11.5	4.1	12.5	5.8	16.3
外用薬薬剤料	6,348	6,660	7,164	6,998	7,436	7,092	7,198	4.9	7.6	▲ 2.3	6.3	▲ 4.6	1.5
（再掲）後発医薬品薬剤料	5,999	7,195	8,502	8,636	10,092	10,245	10,959	19.9	18.2	1.6	16.9	1.5	7.0
特定保険医療材料料	118	122	126	128	130	134	140	3.6	3.8	0.9	1.6	3.8	4.4

注1）「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。
注2）「調剤基本料」には、地域支援体制加算（基準調剤加算）、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算（調剤基本料に係る部分）、及び在宅患者調剤加算を含めている。
注3）「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。
注4）「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。
注5）調剤医療費及び処方箋枚数（受付回数）の電算化率が99.0%を超えた平成21年度以降を公表の対象範囲としている。

表2-2 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

	実数（円）							対前年度比（%）					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
調剤医療費	8,857	8,899	9,546	9,015	9,187	8,850	9,184	0.5	7.3	▲ 5.6	1.9	▲ 3.7	3.8
技術料	2,200	2,200	2,232	2,240	2,292	2,301	2,357	0.0	1.4	0.4	2.3	0.4	2.5
構成割合（%）	24.8	24.7	23.4	24.9	24.9	26.0	25.7	—	—	—	—	—	–
調剤技術料	1,799	1,813	1,846	1,797	1,848	1,822	1,881	0.8	1.8	▲ 2.6	2.8	▲ 1.4	3.2
調剤基本料	620	621	651	612	656	636	676	0.1	5.0	▲ 6.0	7.2	▲ 3.2	6.3
調剤料	1,021	1,028	1,029	1,020	1,025	1,018	1,031	0.6	0.1	▲ 0.9	0.5	▲ 0.7	1.3
加算料	157	165	166	165	167	168	174	4.9	0.6	▲ 0.5	0.8	0.9	3.4
薬学管理料	401	387	386	443	443	479	477	▲ 3.5	▲ 0.3	14.8	0.1	8.0	▲ 0.4
薬剤料	6,642	6,684	7,299	6,759	6,880	6,533	6,810	0.6	9.2	▲ 7.4	1.8	▲ 5.0	4.2
構成割合（%）	75.0	75.1	76.5	75.0	74.9	73.8	74.1	—	—	—	—	—	–
内服薬薬剤料	5,542	5,533	6,075	5,554	5,598	5,284	5,487	▲ 0.2	9.8	▲ 8.6	0.8	▲ 5.6	3.9
屯服薬他薬剤料	48	48	48	46	46	41	41	▲ 1.4	1.2	▲ 5.1	▲ 0.3	▲ 10.4	0.3
注射薬薬剤料	248	275	300	311	346	364	423	10.7	9.4	3.4	11.3	5.2	16.4
外用薬薬剤料	804	829	875	848	891	845	858	3.1	5.5	▲ 3.0	5.1	▲ 5.2	1.6
（再掲）後発医薬品薬剤料	760	895	1,038	1,046	1,209	1,221	1,307	17.9	15.9	0.8	15.6	0.9	7.0
特定保険医療材料料	15	15	15	15	16	16	17	1.8	1.8	0.1	0.5	3.2	4.4
構成割合（%）	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	—	–

3. 年齢階級別の状況

処方箋1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75歳以上では10,965円と、0歳以上5歳未満の3,281円の約3.34倍となっていた。

表3 年齢階級別処方箋1枚当たり調剤医療費

	実数（円）							対前年度比（%）					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数	8,857	8,899	9,546	9,015	9,187	8,850	9,184	0.5	7.3	▲ 5.6	1.9	▲ 3.7	3.8
0歳以上5歳未満	3,255	3,245	3,328	3,250	3,275	3,197	3,281	▲ 0.3	2.5	▲ 2.3	0.7	▲ 2.4	2.6
5歳以上10歳未満	4,608	4,626	4,761	4,605	4,725	4,571	4,752	0.4	2.9	▲ 3.3	2.6	▲ 3.3	4.0
10歳以上15歳未満	5,624	5,688	5,869	5,742	6,024	6,040	6,393	1.1	3.2	▲ 2.2	4.9	0.3	5.8
15歳以上20歳未満	5,785	5,883	6,058	5,937	6,261	6,326	6,665	1.7	3.0	▲ 2.0	5.5	1.0	5.4
20歳以上25歳未満	5,846	5,880	6,063	5,980	6,230	6,176	6,534	0.6	3.1	▲ 1.4	4.2	▲ 0.9	5.8
25歳以上30歳未満	6,165	6,198	6,439	6,290	6,544	6,435	6,710	0.5	3.9	▲ 2.3	4.0	▲ 1.7	4.3
30歳以上35歳未満	6,566	6,606	6,897	6,734	6,930	6,749	7,054	0.6	4.4	▲ 2.4	2.9	▲ 2.6	4.5
35歳以上40歳未満	7,282	7,303	7,617	7,410	7,585	7,360	7,681	0.3	4.3	▲ 2.7	2.4	▲ 3.0	4.4
40歳以上45歳未満	8,117	8,158	8,592	8,347	8,467	8,222	8,511	0.5	5.3	▲ 2.9	1.4	▲ 2.9	3.5
45歳以上50歳未満	8,673	8,729	9,354	9,059	9,185	8,881	9,211	0.7	7.2	▲ 3.2	1.4	▲ 3.3	3.7
50歳以上55歳未満	9,053	9,069	9,888	9,390	9,487	9,162	9,476	0.2	9.0	▲ 5.0	1.0	▲ 3.4	3.4
55歳以上60歳未満	9,526	9,530	10,434	9,816	9,860	9,479	9,763	0.1	9.5	▲ 5.9	0.4	▲ 3.9	3.0
60歳以上65歳未満	9,880	9,874	10,775	10,063	10,131	9,706	10,022	▲ 0.1	9.1	▲ 6.6	0.7	▲ 4.2	3.3
65歳以上70歳未満	10,182	10,178	11,124	10,370	10,446	9,988	10,311	▲ 0.0	9.3	▲ 6.8	0.7	▲ 4.4	3.2
70歳以上75歳未満	10,366	10,434	11,409	10,614	10,763	10,289	10,623	0.7	9.3	▲ 7.0	1.4	▲ 4.4	3.2
75歳以上	10,978	11,010	11,730	10,948	11,173	10,670	10,965	0.3	6.5	▲ 6.7	2.1	▲ 4.5	2.8

4. 後発医薬品割合の推移及び後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

令和元年度末において、後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で80.4%(対前年同期差(伸び幅という。以下同じ)＋2.8%)、数量ベース(旧指標)で55.4%(＋1.5%)、薬剤料ベースで18.6%(▲1.0%)であり、後発医薬品調剤率は75.7%(＋2.0%)であった。

年度毎の平均でみると、令和元年度の後発医薬品割合は、数量ベースのうち新指標では79.1%(＋3.2%)、旧指標では55.0%(＋2.4%)、薬剤料ベースでは19.2%(＋0.5%)であり、後発医薬品調剤率は75.2%(＋2.2%)であった。

後発医薬品割合の階級別に保険薬局数の構成割合をみると、数量ベース(新指標)で後発医薬品割合が75%以上の薬局数は平成31年3月で70.8%であったところ、令和2年3月では77.2%(＋6.4%)となっており、うち85%以上の薬局数は平成31年3月で31.5%であったところ、令和2年3月では43.3%(＋11.8%)となっていた。

表4-1 令和元年度における後発医薬品割合

(単位:%)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度											
	3月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
数量ベース(新指標)	73.0	77.7	77.8	78.0	78.1	78.4	78.6	78.7	79.1	79.6	79.9	80.2	80.3	80.4
数量ベース(旧指標)	50.2	53.9	54.4	54.5	54.5	54.6	54.7	54.9	55.2	55.3	55.3	55.5	55.5	55.4
薬剤料ベース	19.0	19.6	19.9	19.7	19.7	19.7	19.6	19.8	18.5	18.8	18.6	18.6	18.9	18.6
後発医薬品調剤率	70.8	73.6	74.5	74.4	74.0	74.1	74.2	74.8	75.7	76.0	76.2	76.5	76.1	75.7

表4-2 年度毎にみた後発医薬品割合

(単位:%)

	実数							対前年度差					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
数量ベース(新指標)	47.9	56.4	60.1	66.8	70.2	75.9	79.1	8.4	3.7	6.8	3.4	5.6	3.2
数量ベース(旧指標)	31.1	37.0	40.2	44.5	47.7	52.6	55.0	5.9	3.2	4.3	3.2	4.8	2.4
薬剤料ベース	11.4	13.4	14.2	15.5	17.6	18.7	19.2	2.0	0.8	1.3	2.1	1.1	0.5
後発医薬品調剤率	55.0	60.8	63.1	67.0	69.4	73.0	75.2	5.8	2.3	3.9	2.4	3.6	2.2

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注2) 「新指標」は、〔後発医薬品の数量〕/(〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕)で算出している(「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」(平成25年4月公表)を参照)。その際、新たに後発医薬品が販売される先発医薬品は、平成26年度より、薬価収載の翌月(平成25年度は薬価収載月(6月と12月))以降、医療課長通知＊に基づき算出式の分母に算入することとしている。そのため、算出式の分母となる医薬品数量が一時に増え、新指標による後発医薬品割合が低くなることがある。
＊厚生労働省ホームページ「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について」中の「5. その他(各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報)」を参照。
注3) 「後発医薬品調剤率」とは、全処方箋受付回数に対する後発医薬品を調剤した処方箋受付回数の割合をいう。
注4) 旧指標とは、平成24年度までの後発医薬品割合(数量ベース)の算出方法をいう。
注5) 旧指標による算出では、平成22年4月以降は、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤を除外し、平成24年4月以降は、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤を除外している。
注6) 「・」は算出できないものを示す。

表4-3 後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

(単位:%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度											
		3月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
割	10%未満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
割	10%以上 20%未満	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
割	20%以上 30%未満	1.2	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4
割	30%以上 40%未満	2.8	1.5	1.5	1.5	1.4	1.3	1.3	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0
割	40%以上 50%未満	5.3	3.3	3.1	3.1	3.0	2.9	2.9	2.8	2.7	2.6	2.5	2.4	2.3	2.3
割	50%以上 60%未満	3.9	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.3	2.2	2.1	2.0	1.9	2.0	1.9
割	55%以上 60%未満	4.7	3.7	3.7	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.2	2.9	3.0	2.8	2.8	2.7
割	60%以上 65%未満	5.3	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.1	4.0	3.8	3.8	3.8
割	65%以上 70%未満	7.3	5.5	5.3	5.3	5.2	5.2	5.2	5.1	5.0	4.9	4.8	4.9	4.8	4.8
割	70%以上 75%未満	12.2	7.1	7.1	6.9	6.8	6.6	6.6	6.6	6.3	6.1	6.1	6.0	5.8	5.8
割	75%以上 80%未満	20.6	14.9	14.9	14.6	14.5	14.2	14.1	13.8	13.1	11.8	11.3	10.5	10.2	10.3
割	80%以上 85%未満	20.1	24.3	24.2	24.6	24.4	24.5	24.3	24.3	23.9	23.8	23.8	24.1	23.6	23.6
割	85%以上 90%未満	12.3	22.0	22.6	22.8	23.2	23.9	24.2	24.5	25.4	26.2	26.6	27.2	27.6	27.9
割	90%以上 95%未満	3.2	8.2	8.3	8.4	8.6	8.9	9.1	9.4	10.4	11.7	12.3	12.7	13.3	13.3
割	95%以上	0.6	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.7	1.8	2.0	2.0	2.2	2.1
合	65%未満	23.7	16.7	16.2	16.0	15.8	15.4	15.0	14.8	14.2	13.6	13.2	12.7	12.6	12.2
合	65%以上 75%未満	19.5	12.5	12.4	12.2	12.0	11.8	11.8	11.7	11.3	11.0	10.9	10.8	10.6	10.6
合	75%以上	56.8	70.8	71.3	71.7	72.2	72.8	73.2	73.5	74.4	75.4	75.9	76.5	76.8	77.2
合	75%以上 80%未満	20.6	14.9	14.9	14.6	14.5	14.2	14.1	13.8	13.1	11.8	11.3	10.5	10.2	10.3
合	80%以上 85%未満	20.1	24.3	24.2	24.6	24.4	24.5	24.3	24.3	23.9	23.8	23.8	24.1	23.6	23.6
合	85%以上	16.1	31.5	32.2	32.6	33.3	34.2	34.8	35.5	37.4	39.7	40.8	41.9	43.1	43.3

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/(〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕)で算出している。

5. 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料5,478円を、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.79、25.0日、79円となっていた。

また、内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料の伸び率＋3.9%を、処方箋1枚当たり薬剤種類数の伸び率、1種類当たり投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々▲0.3%、＋3.6%、＋0.5%となっていた。

表5 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数							対前年度比(%)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料(円)	5,528	5,526	6,068	5,548	5,590	5,273	5,478	▲ 0.0	9.8	▲ 8.6	0.8	▲ 5.7	3.9
処方箋1枚当たり薬剤種類数	2.90	2.88	2.86	2.83	2.81	2.80	2.79	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.3
1種類当たり投薬日数(日)	21.8	22.3	22.8	23.1	23.6	24.1	25.0	2.3	1.9	1.5	2.1	2.3	3.6
1種類1日当たり薬剤料(円)	87	86	93	85	84	78	79	▲ 1.9	8.6	▲ 9.1	▲ 0.4	▲ 7.4	0.5

６－１．薬効分類別の状況(1)(内服薬薬剤料総額)

内服薬の薬剤料(総額)を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が8,267億円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が7,999億円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が＋19.5%と最も高く、化学療法剤が▲18.0%と最も低い。

後発医薬品については、循環器官用薬が2,965億円と最も高く、次いで消化器官用薬が1,286億円となっている。伸び率は、泌尿生殖器官および肛門用薬が＋64.6%と最も高く、ビタミン剤が▲1.5%と最も低い。

表6-1 内服薬 薬効分類別 薬剤料

	総額(億円)			後発医薬品(億円)(再掲)			対前年度比(%)		後発医薬品(再掲)	
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度
内服薬 総数	46,645	44,259	45,942	8,977	9,056	9,580	▲ 5.1	3.8	0.9	5.8
11 中枢神経系用薬	8,147	7,895	7,999	1,002	1,015	1,218	▲ 3.1	1.3	1.3	20.0
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	545	488	474	155	154	158	▲ 10.5	▲ 2.9	▲ 0.6	2.4
114 解熱鎮痛消炎剤	1,031	1,013	945	129	147	205	▲ 1.8	▲ 6.7	14.0	38.7
116 抗パーキンソン剤	709	646	675	45	57	66	▲ 8.9	4.5	26.4	14.2
117 精神神経用剤	2,679	2,516	2,500	329	314	426	▲ 6.1	▲ 0.6	▲ 4.5	35.3
119 その他中枢神経系用薬	2,448	2,446	2,545	292	263	269	▲ 0.1	4.0	▲ 10.0	2.1
21 循環器官用薬	9,759	8,238	8,267	2,732	2,881	2,965	▲ 15.6	0.4	5.5	2.9
212 不整脈用剤	431	325	315	127	134	146	▲ 24.6	▲ 3.0	5.7	8.9
214 血圧降下剤	4,036	3,149	3,019	1,039	1,153	1,179	▲ 22.0	▲ 4.1	10.9	2.2
217 血管拡張剤	1,072	894	860	642	582	590	▲ 16.5	▲ 3.8	▲ 9.3	1.3
218 高脂血症用剤	2,645	2,213	2,263	730	807	818	▲ 16.3	2.3	10.5	1.3
22 呼吸器官用薬	435	405	396	189	204	216	▲ 6.9	▲ 2.3	8.2	5.5
23 消化器官用薬	4,132	3,865	4,116	1,333	1,274	1,286	▲ 6.5	6.5	▲ 4.4	0.9
232 消化性潰瘍用剤	2,781	2,499	2,592	883	810	799	▲ 10.1	3.7	▲ 8.3	▲ 1.4
239 その他の消化器官用薬	579	586	624	120	124	132	1.2	6.5	3.6	6.2
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	665	691	822	86	111	140	3.9	18.9	29.0	26.8
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	1,367	1,306	1,257	137	123	202	▲ 4.5	▲ 3.8	▲ 10.2	64.6
31 ビタミン剤	971	965	1,015	272	250	247	▲ 0.6	5.2	▲ 7.8	▲ 1.5
32 滋養強壮薬	514	503	526	39	42	44	▲ 2.2	4.6	7.5	5.9
325 蛋白アミノ酸製剤	435	421	439	17	17	18	▲ 3.2	4.4	▲ 1.9	4.1
33 血液・体液用薬	3,456	3,348	3,533	809	746	749	▲ 3.1	5.5	▲ 7.7	0.3
39 その他の代謝性医薬品	6,807	6,870	7,438	754	770	811	0.9	8.3	2.1	5.3
396 糖尿病用剤	3,416	3,436	3,711	241	238	239	0.6	8.0	▲ 1.5	0.4
399 他に分類されない代謝性医薬品	2,734	2,735	2,950	401	429	474	0.0	7.9	7.1	10.4
42 腫瘍用薬	3,221	3,567	4,261	323	332	378	10.7	19.5	3.0	13.8
422 代謝拮抗剤	350	289	245	42	70	97	▲ 17.4	▲ 15.3	64.7	39.7
429 その他の腫瘍用薬	2,811	3,239	3,981	279	250	264	15.2	22.9	▲ 10.3	5.3
44 アレルギー用薬	2,487	2,182	2,158	819	825	837	▲ 12.3	▲ 1.1	0.7	1.5
52 漢方製剤	1,170	1,183	1,247	－	－	－	1.1	5.4	・	・
61 抗生物質製剤	711	596	558	223	206	206	▲ 16.2	▲ 6.4	▲ 7.5	▲ 0.0
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	321	270	248	92	86	86	▲ 15.9	▲ 8.2	▲ 6.7	0.1
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	251	198	177	110	98	94	▲ 21.0	▲ 10.7	▲ 11.4	▲ 3.9
62 化学療法剤	2,463	2,312	1,895	205	210	211	▲ 6.1	▲ 18.0	2.2	0.4
624 合成抗菌剤	303	239	218	73	66	64	▲ 21.2	▲ 8.6	▲ 8.9	▲ 3.2
625 抗ウイルス剤	1,969	1,876	1,435	75	92	94	▲ 4.7	▲ 23.5	22.7	2.3

注1)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。
注2) 「－」は0を意味する。

６－２．薬効分類別の状況(2)（内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料）

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が986円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が954円となっている。伸び率は、腫瘍用薬が＋19.5%と最も高く、化学療法剤が▲18.0%と最も低い。

表6-2 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤料

	実数（円）							対前年度比（%）					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
内服薬 総数	5,528	5,526	6,068	5,548	5,590	5,273	5,478	▲ 0.0	9.8	▲ 8.6	0.8	▲ 5.7	3.9
11 中枢神経系用薬	895	923	969	929	976	941	954	3.1	5.0	▲ 4.1	5.1	▲ 3.7	1.4
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	84	74	72	65	65	58	56	▲ 11.6	▲ 2.2	▲ 9.7	0.1	▲ 11.0	▲ 2.8
114 解熱鎮痛消炎剤	110	116	121	120	124	121	113	6.2	3.7	▲ 0.5	2.9	▲ 2.4	▲ 6.6
116 抗パーキンソン剤	76	80	84	84	85	77	80	5.1	4.8	0.1	1.5	▲ 9.4	4.5
117 精神神経用剤	300	306	318	305	321	300	298	2.1	4.0	▲ 4.2	5.3	▲ 6.6	▲ 0.6
119 その他中枢神経系用薬	263	276	296	277	293	291	303	5.0	7.1	▲ 6.3	5.9	▲ 0.6	4.1
21 循環器官用薬	1,445	1,347	1,344	1,204	1,169	982	986	▲ 6.8	▲ 0.2	▲ 10.4	▲ 2.9	▲ 16.1	0.4
212 不整脈用剤	71	65	62	54	52	39	38	▲ 9.3	▲ 3.4	▲ 13.9	▲ 3.8	▲ 25.0	▲ 2.9
214 血圧降下剤	683	629	605	528	484	375	360	▲ 8.0	▲ 3.8	▲ 12.8	▲ 8.3	▲ 22.4	▲ 4.0
217 血管拡張剤	193	165	159	131	128	107	103	▲ 14.7	▲ 3.8	▲ 17.3	▲ 2.0	▲ 17.0	▲ 3.7
218 高脂血症用剤	357	336	349	321	317	264	270	▲ 5.9	4.0	▲ 7.9	▲ 1.4	▲ 16.8	2.3
22 呼吸器官用薬	63	58	59	54	52	48	47	▲ 7.5	1.2	▲ 7.9	▲ 3.9	▲ 7.4	▲ 2.2
23 消化器官用薬	519	494	507	473	495	460	491	▲ 4.8	2.5	▲ 6.7	4.7	▲ 7.0	6.6
232 消化性潰瘍用剤	371	342	351	319	333	298	309	▲ 7.7	2.4	▲ 8.9	4.4	▲ 10.7	3.8
239 その他の消化器官用薬	73	72	72	66	69	70	74	▲ 1.8	▲ 0.7	▲ 7.8	5.2	0.6	6.6
24 ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	63	72	75	77	80	82	98	13.7	4.2	2.5	4.0	3.3	19.0
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	156	160	166	159	164	156	150	2.4	3.7	▲ 3.7	2.8	▲ 5.0	▲ 3.7
31 ビタミン剤	107	109	114	112	116	115	121	2.5	4.2	▲ 1.4	3.7	▲ 1.2	5.2
32 滋養強壮薬	64	62	63	61	62	60	63	▲ 2.2	0.3	▲ 2.8	1.3	▲ 2.8	4.7
325 蛋白アミノ酸製剤	56	54	54	52	52	50	52	▲ 3.5	▲ 0.6	▲ 3.6	0.7	▲ 3.7	4.5
33 血液・体液用薬	392	414	433	393	414	399	421	5.6	4.6	▲ 9.3	5.4	▲ 3.7	5.6
39 その他の代謝性医薬品	711	727	777	767	816	818	887	2.2	6.9	▲ 1.3	6.4	0.3	8.3
396 糖尿病用剤	340	351	382	383	409	409	442	3.2	9.1	0.0	7.0	0.0	8.1
399 他に分類されない代謝性医薬品	293	296	312	307	328	326	352	1.1	5.3	▲ 1.5	6.6	▲ 0.5	7.9
42 腫瘍用薬	281	304	344	352	386	425	508	8.1	13.2	2.2	9.6	10.1	19.5
422 代謝拮抗剤	60	54	52	47	42	34	29	▲ 11.3	▲ 3.2	▲ 8.6	▲ 11.7	▲ 17.8	▲ 15.2
429 その他の腫瘍用薬	213	242	285	297	337	386	475	14.0	17.5	4.4	13.3	14.6	23.0
44 アレルギー用薬	353	341	351	306	298	260	257	▲ 3.3	2.7	▲ 12.8	▲ 2.5	▲ 12.8	▲ 1.0
52 漢方製剤	125	130	135	135	140	141	149	4.4	3.7	▲ 0.1	3.9	0.5	5.5
61 抗生物質製剤	123	111	108	93	85	71	66	▲ 9.2	▲ 2.7	▲ 13.8	▲ 8.9	▲ 16.6	▲ 6.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	56	52	51	43	39	32	30	▲ 7.0	▲ 1.9	▲ 15.4	▲ 10.1	▲ 16.4	▲ 8.1
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	52	43	43	35	30	24	21	▲ 16.4	▲ 0.8	▲ 18.9	▲ 13.7	▲ 21.5	▲ 10.6
62 化学療法剤	186	227	580	391	295	275	226	22.2	155.1	▲ 32.5	▲ 24.5	▲ 6.7	▲ 18.0
624 合成抗菌剤	55	52	49	41	36	28	26	▲ 5.6	▲ 5.7	▲ 17.6	▲ 10.8	▲ 21.6	▲ 8.6
625 抗ウイルス剤	99	148	505	328	236	224	171	48.4	242.5	▲ 35.1	▲ 28.0	▲ 5.3	▲ 23.5

注）表示していない項目（薬効）があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

7. 薬効分類別の状況(3)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.61と最も多く、次いで中枢神経系用薬が0.45となっている。伸び率は、腫瘍用薬が＋5.2%で最も高く、化学療法剤が▲10.5%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤種類数

	実数							対前年度比(%)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
内服薬 総数	2.90	2.88	2.86	2.83	2.81	2.80	2.79	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.3
11 中枢神経系用薬	0.47	0.46	0.46	0.45	0.45	0.45	0.45	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.7	0.1	▲ 0.8	0.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	0.12	0.11	▲ 3.8	▲ 3.3	▲ 2.4	▲ 1.8	▲ 3.7	▲ 3.0
114 解熱鎮痛消炎剤	0.10	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.5	▲ 0.0	▲ 1.0	0.1	▲ 1.1	▲ 0.7
116 抗パーキンソン剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 2.0	▲ 2.4	▲ 2.0	▲ 1.1
117 精神神経用剤	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	▲ 1.9	▲ 1.7	▲ 1.7	▲ 0.1	▲ 0.3	0.9
119 その他中枢神経系用薬	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.06	0.06	12.3	9.8	8.7	8.1	7.8	7.5
21 循環器官用薬	0.62	0.61	0.61	0.60	0.60	0.60	0.61	▲ 1.4	▲ 1.5	▲ 0.3	▲ 0.4	0.4	1.6
212 不整脈用剤	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	1.8	1.4	2.6	2.5	3.4	4.4
214 血圧降下剤	0.22	0.21	0.21	0.21	0.20	0.20	0.20	▲ 2.5	▲ 2.3	▲ 1.1	▲ 1.4	▲ 0.8	0.4
217 血管拡張剤	0.15	0.15	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	▲ 2.4	▲ 2.3	▲ 0.6	▲ 0.6	0.0	1.2
218 高脂血症用剤	0.13	0.14	0.14	0.14	0.14	0.15	0.15	1.5	1.2	1.6	1.3	2.8	4.1
22 呼吸器官用薬	0.26	0.26	0.26	0.27	0.25	0.25	0.24	▲ 0.3	1.5	1.2	▲ 4.1	▲ 1.2	▲ 5.0
23 消化器官用薬	0.48	0.48	0.47	0.46	0.45	0.44	0.44	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 2.3	▲ 1.4	▲ 0.9
232 消化性潰瘍用剤	0.25	0.24	0.24	0.23	0.23	0.22	0.22	▲ 2.0	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 2.3	▲ 1.9	▲ 1.0
239 その他の消化器官用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	▲ 2.6	▲ 2.4	▲ 1.3	▲ 2.7	▲ 0.3	▲ 1.4
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	5.6	▲ 0.6	0.2	1.2	1.7	2.9
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	2.2	1.5	0.9	0.6	0.9	4.7
31 ビタミン剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 0.9	0.1	0.6	1.2
32 滋養強壮薬	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	1.6	1.0	2.3	1.9	2.4	2.3
325 蛋白アミノ酸製剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	1.1	1.2	2.9	2.3	2.5	4.9
33 血液・体液用薬	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	▲ 0.1	▲ 0.5	1.2	0.1	▲ 0.4	0.2
39 その他の代謝性医薬品	0.23	0.23	0.23	0.22	0.22	0.22	0.23	2.2	▲ 0.6	▲ 4.8	0.9	1.0	1.9
396 糖尿病用剤	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	5.5	1.5	0.8	1.3	0.9	2.1
399 他に分類されない代謝性医薬品	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 0.5	0.1
42 腫瘍用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	1.3	1.4	0.9	0.9	2.8	5.2
422 代謝拮抗剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	▲ 4.5	▲ 4.1	▲ 3.9	▲ 3.4	▲ 3.8	1.3
429 その他の腫瘍用薬	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.6	4.4	3.2	2.7	5.4	6.6
44 アレルギー用薬	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.21	0.20	1.1	▲ 1.1	▲ 0.1	1.3	1.7	▲ 2.3
52 漢方製剤	0.07	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.09	3.6	3.1	3.0	3.1	1.7	2.2
61 抗生物質製剤	0.12	0.11	0.11	0.11	0.10	0.09	0.09	▲ 2.0	▲ 0.8	▲ 4.3	▲ 9.1	▲ 7.7	▲ 4.6
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06	0.05	0.05	▲ 0.8	▲ 1.2	▲ 5.7	▲ 7.1	▲ 7.5	▲ 4.2
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	▲ 4.3	0.9	▲ 3.3	▲ 13.0	▲ 9.4	▲ 6.8
62 化学療法剤	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.2	1.6	▲ 3.1	▲ 2.5	2.6	▲ 10.5
624 合成抗菌剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	▲ 1.3	3.0	▲ 2.5	▲ 8.8	▲ 7.0	▲ 5.2
625 抗ウイルス剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	8.2	3.3	▲ 7.0	13.1	25.5	▲ 29.9

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

8. 薬効分類別の状況(4)(内服薬1種類当たり投薬日数)

内服薬の1種類当たり投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の42.0日であり、最も短いのは抗生物質製剤の7.2日である。伸び率は、化学療法剤が＋13.6%で最も高く、泌尿生殖器官および肛門用薬が＋1.0%で最も低い。

表8 内服薬薬効分類別1種類当たり投薬日数

	実数(日)							対前年度比(%)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
内服薬　総数	21.8	22.3	22.8	23.1	23.6	24.1	25.0	2.3	1.9	1.5	2.1	2.3	3.6
11 中枢神経系用薬	20.8	21.4	21.7	21.9	22.1	22.6	23.1	2.6	1.8	0.8	0.9	2.0	2.2
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	22.5	23.0	23.4	23.6	23.9	24.1	24.5	2.2	1.8	1.1	0.9	1.1	1.3
114 解熱鎮痛消炎剤	14.8	15.3	15.6	15.9	16.2	16.7	17.2	3.3	2.0	1.4	2.1	2.9	3.4
116 抗パーキンソン剤	25.7	26.5	27.2	27.5	27.8	28.3	29.0	3.1	2.4	1.1	1.3	1.6	2.4
117 精神神経用剤	23.3	23.8	24.2	24.1	23.9	24.2	24.6	2.0	1.7	▲ 0.4	▲ 0.9	1.2	1.9
119 その他中枢神経系用薬	23.8	24.5	24.7	25.0	25.3	25.6	25.9	2.9	1.1	1.0	1.0	1.3	1.1
21 循環器官用薬	30.1	30.8	31.4	31.8	32.3	32.9	33.7	2.2	2.2	1.2	1.5	1.7	2.4
212 不整脈用剤	30.8	31.5	32.2	32.6	33.0	33.5	34.2	2.2	2.1	1.2	1.3	1.5	2.1
214 血圧降下剤	31.1	31.7	32.5	32.9	33.4	34.0	34.7	2.2	2.2	1.2	1.6	1.8	2.3
217 血管拡張剤	30.2	30.9	31.5	31.9	32.4	32.9	33.7	2.1	2.1	1.1	1.5	1.7	2.3
218 高脂血症用剤	31.9	32.6	33.4	33.8	34.3	34.9	35.8	2.2	2.3	1.2	1.7	1.7	2.4
22 呼吸器官用薬	8.2	8.3	8.3	8.3	8.5	8.7	9.1	1.3	0.9	▲ 0.1	1.8	2.5	4.5
23 消化器官用薬	21.9	22.5	22.9	23.2	23.7	24.1	24.9	2.6	1.8	1.3	2.2	1.8	3.2
232 消化性潰瘍用剤	23.6	24.2	24.6	25.0	25.4	25.9	26.7	2.5	1.6	1.7	1.7	2.0	2.8
239 その他の消化器官用薬	20.3	21.0	21.5	21.5	22.2	22.6	23.6	3.5	2.1	0.3	2.8	2.1	4.2
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	24.8	26.0	26.4	26.8	27.3	28.0	29.2	4.6	1.6	1.5	2.1	2.4	4.1
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	31.1	31.7	32.5	33.0	33.4	33.8	34.1	1.8	2.6	1.5	1.2	1.2	1.0
31 ビタミン剤	25.7	26.4	27.0	27.4	27.9	28.5	29.3	2.6	2.5	1.6	1.7	2.1	2.7
32 滋養強壮薬	24.8	25.4	25.9	26.1	26.4	26.7	27.0	2.5	2.1	0.6	1.0	1.1	1.4
325 蛋白アミノ酸製剤	20.2	20.5	20.7	20.4	20.3	20.4	20.5	1.4	0.7	▲ 1.2	▲ 0.3	0.2	0.6
33 血液・体液用薬	26.4	26.7	27.0	26.9	26.9	27.3	27.7	1.2	1.0	▲ 0.5	0.2	1.2	1.5
39 その他の代謝性医薬品	25.7	26.3	27.3	28.9	29.4	30.0	30.8	2.3	4.0	5.7	1.7	2.1	2.9
396 糖尿病用剤	31.8	31.9	32.8	33.3	33.7	34.3	35.1	0.4	2.8	1.4	1.2	1.7	2.4
399 他に分類されない代謝性医薬品	14.7	14.9	15.3	15.5	15.8	16.3	17.0	1.9	2.5	1.5	1.9	2.9	4.2
42 腫瘍用薬	38.5	38.8	39.5	40.6	41.3	41.4	42.0	0.8	2.0	2.7	1.8	0.3	1.2
422 代謝拮抗剤	20.0	19.9	20.1	20.2	20.3	20.4	20.4	▲ 0.2	0.7	0.7	0.2	0.6	0.2
429 その他の腫瘍用薬	47.9	47.6	47.8	48.7	49.1	48.5	48.8	▲ 0.8	0.6	1.7	0.9	▲ 1.2	0.6
44 アレルギー用薬	15.6	16.2	16.7	17.1	17.7	18.5	19.7	3.7	2.9	2.3	3.8	4.5	6.4
52 漢方製剤	20.2	20.5	20.8	20.8	21.0	21.4	22.0	1.5	1.1	0.3	0.9	1.6	3.2
61 抗生物質製剤	6.2	6.3	6.4	6.5	6.7	6.9	7.2	1.6	1.1	0.6	3.1	3.9	3.7
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8	4.9	5.0	1.0	1.9	0.1	1.2	1.6	1.6
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	7.8	8.0	8.0	8.0	8.5	8.9	9.4	2.6	0.2	▲ 0.0	5.4	5.1	5.1
62 化学療法剤	9.9	10.1	10.2	10.3	10.6	10.3	11.7	2.0	1.0	1.2	2.7	▲ 2.9	13.6
624 合成抗菌剤	5.3	5.3	5.4	5.4	5.4	5.5	5.6	0.8	0.6	▲ 0.1	1.4	1.3	1.5
625 抗ウイルス剤	10.6	11.0	12.0	12.1	11.3	8.8	12.3	4.0	8.5	1.2	▲ 7.3	▲ 21.6	39.8

注)表示していない項目(薬効)がある。

9. 薬効分類別の状況(5)(内服薬1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の1,897円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の22円であった。
伸び率は、腫瘍用薬が＋12.3%で最も高く、化学療法剤が▲19.3%で最も低い。

表9 内服薬薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
内服薬　総数	87	86	93	85	84	78	79	▲ 1.9	8.6	▲ 9.1	▲ 0.4	▲ 7.4	0.5
11 中枢神経系用薬	92	94	97	93	97	93	92	1.6	4.0	▲ 4.3	4.1	▲ 4.7	▲ 0.9
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	28	25	25	23	23	21	21	▲ 10.0	▲ 0.5	▲ 8.5	1.0	▲ 8.7	▲ 1.2
114 解熱鎮痛消炎剤	71	72	73	73	73	70	64	2.2	1.8	▲ 0.8	0.7	▲ 4.2	▲ 9.0
116 抗パーキンソン剤	169	178	187	189	194	177	183	5.4	5.5	1.1	2.6	▲ 9.0	3.3
117 精神神経用剤	103	105	109	107	113	105	101	2.0	3.9	▲ 2.1	6.3	▲ 7.5	▲ 3.3
119 その他中枢神経系用薬	311	283	273	233	226	205	197	▲ 9.1	▲ 3.5	▲ 14.7	▲ 3.1	▲ 9.0	▲ 4.2
21 循環器官用薬	77	71	71	63	60	49	48	▲ 7.5	▲ 0.9	▲ 11.2	▲ 4.0	▲ 17.8	▲ 3.5
212 不整脈用剤	79	69	64	53	49	35	32	▲ 12.8	▲ 6.7	▲ 17.1	▲ 7.4	▲ 28.6	▲ 8.9
214 血圧降下剤	101	93	90	78	72	55	51	▲ 7.7	▲ 3.6	▲ 12.9	▲ 8.5	▲ 23.2	▲ 6.6
217 血管拡張剤	43	36	35	29	28	23	21	▲ 14.4	▲ 3.6	▲ 17.7	▲ 2.9	▲ 18.4	▲ 7.0
218 高脂血症用剤	83	76	76	68	65	52	50	▲ 9.3	0.4	▲ 10.4	▲ 4.3	▲ 20.4	▲ 4.0
22 呼吸器官用薬	30	27	27	25	24	22	22	▲ 8.4	▲ 1.2	▲ 8.8	▲ 1.6	▲ 8.6	▲ 1.5
23 消化器官用薬	49	46	47	44	47	43	45	▲ 5.6	2.5	▲ 6.0	4.9	▲ 7.3	4.2
232 消化性潰瘍用剤	63	58	59	55	58	51	52	▲ 8.1	2.8	▲ 7.8	5.0	▲ 10.7	2.0
239 その他の消化器官用薬	90	88	87	81	86	85	88	▲ 2.7	▲ 0.4	▲ 6.8	5.1	▲ 1.2	3.8
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	55	56	58	58	59	58	65	2.9	3.2	0.8	0.7	▲ 0.8	11.1
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	134	132	131	123	125	116	105	▲ 1.5	▲ 0.5	▲ 6.0	1.0	▲ 7.0	▲ 9.0
31 ビタミン剤	42	42	43	42	43	41	42	0.4	2.6	▲ 2.1	1.8	▲ 3.9	1.3
32 滋養強壮薬	105	98	96	90	89	84	84	▲ 6.0	▲ 2.8	▲ 5.6	▲ 1.6	▲ 6.2	0.9
325 蛋白アミノ酸製剤	518	487	475	451	445	417	413	▲ 6.0	▲ 2.4	▲ 5.1	▲ 1.3	▲ 6.3	▲ 1.0
33 血液・体液用薬	104	109	113	102	107	102	106	4.4	4.1	▲ 9.9	5.0	▲ 4.5	3.8
39 その他の代謝性医薬品	123	120	124	122	126	123	127	▲ 2.2	3.4	▲ 2.0	3.7	▲ 2.7	3.4
396 糖尿病用剤	99	96	101	99	103	100	103	▲ 2.5	4.5	▲ 2.1	4.4	▲ 2.6	3.3
399 他に分類されない代謝性医薬品	358	362	377	370	391	380	393	1.0	4.2	▲ 1.9	5.6	▲ 2.8	3.5
42 腫瘍用薬	1,295	1,370	1,501	1,481	1,582	1,689	1,897	5.8	9.5	▲ 1.3	6.8	6.8	12.3
422 代謝拮抗剤	1,779	1,656	1,660	1,569	1,433	1,215	1,015	▲ 6.9	0.2	▲ 5.5	▲ 8.7	▲ 15.2	▲ 16.5
429 その他の腫瘍用薬	1,187	1,305	1,459	1,451	1,586	1,745	2,001	9.9	11.8	▲ 0.6	9.3	10.0	14.7
44 アレルギー用薬	112	103	104	89	82	68	64	▲ 7.7	0.9	▲ 14.7	▲ 7.3	▲ 18.0	▲ 4.8
52 漢方製剤	85	84	84	81	81	79	79	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 3.3	▲ 0.1	▲ 2.7	0.0
61 抗生物質製剤	169	154	149	134	130	113	107	▲ 8.8	▲ 3.0	▲ 10.4	▲ 2.8	▲ 13.1	▲ 5.3
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	179	166	162	145	138	123	116	▲ 7.2	▲ 2.6	▲ 10.4	▲ 4.4	▲ 11.0	▲ 5.6
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	149	127	125	105	99	81	74	▲ 14.9	▲ 1.8	▲ 16.1	▲ 5.9	▲ 17.6	▲ 8.8
62 化学療法剤	489	584	1,451	998	752	705	569	19.4	148.5	▲ 31.2	▲ 24.6	▲ 6.3	▲ 19.3
624 合成抗菌剤	433	411	375	317	306	254	242	▲ 5.1	▲ 8.9	▲ 15.4	▲ 3.5	▲ 16.9	▲ 4.9
625 抗ウイルス剤	1,254	1,653	5,052	3,482	2,388	2,299	1,794	31.8	205.5	▲ 31.1	▲ 31.4	▲ 3.8	▲ 22.0

注)表示していない項目(薬効)がある。

10－1. 薬効分類別の状況(6)(内服薬　後発医薬品処方箋1枚当たり薬剤料)

後発医薬品の内服薬について、処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が353円と最も高く、次いで消化器官用薬が153円となっている。伸び率は、泌尿生殖器官および肛門用薬が＋64.8%で最も高く、ビタミン剤が▲1.4%で最も低い。

表10-1　内服薬　薬効分類別処方箋1枚当たり後発医薬品薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
内服薬　総数	679	794	924	927	1,076	1,079	1,142	16.8	16.4	0.4	16.0	0.3	5.9
11 中枢神経系用薬	74	88	101	107	120	121	145	18.9	14.1	6.2	12.2	0.7	20.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	13	15	17	17	19	18	19	21.0	10.8	2.7	6.5	▲ 1.2	2.5
114 解熱鎮痛消炎剤	9	12	13	14	16	18	24	25.9	8.5	11.2	8.0	13.3	38.8
116 抗パーキンソン剤	3	3	3	4	5	7	8	21.5	11.3	20.5	30.9	25.7	14.3
117 精神神経用剤	20	22	26	33	39	37	51	12.3	15.4	28.2	19.5	▲ 5.0	35.4
119 その他中枢神経系用薬	26	31	37	33	35	31	32	19.3	17.7	▲ 11.6	7.3	▲ 10.5	2.1
21 循環器官用薬	177	219	265	258	327	343	353	23.9	20.9	▲ 2.6	26.8	4.9	3.0
212 不整脈用剤	9	11	13	14	15	16	17	18.8	16.0	6.4	12.4	5.1	9.0
214 血圧降下剤	27	53	81	84	125	137	141	95.7	53.0	3.8	48.6	10.3	2.3
217 血管拡張剤	70	73	79	72	77	69	70	4.2	9.1	▲ 8.5	6.3	▲ 9.8	1.4
218 高脂血症用剤	56	67	74	68	87	96	97	18.4	11.9	▲ 9.2	29.3	9.9	1.4
22 呼吸器官用薬	13	17	19	22	23	24	26	32.8	12.4	10.5	5.1	7.6	5.6
23 消化器官用薬	130	146	160	156	160	152	153	12.4	9.0	▲ 2.4	2.6	▲ 4.9	1.0
232 消化性潰瘍用剤	92	102	112	104	106	97	95	11.4	9.3	▲ 6.9	1.7	▲ 8.8	▲ 1.3
239 その他の消化器官用薬	6	8	11	13	14	15	16	45.7	28.4	25.0	8.9	3.0	6.3
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	2	2	2	4	10	13	17	3.9	18.4	58.6	180.3	28.2	26.9
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	12	12	16	16	16	15	24	1.8	30.7	0.2	4.8	▲ 10.7	64.8
31 ビタミン剤	40	38	37	33	33	30	29	▲ 5.5	▲ 2.8	▲ 9.7	▲ 2.6	▲ 8.3	▲ 1.4
32 滋養強壮薬	3	3	4	4	5	5	5	16.2	13.0	9.3	9.0	6.8	6.0
325 蛋白アミノ酸製剤	2	2	2	2	2	2	2	4.7	11.4	0.5	7.7	▲ 2.4	4.1
33 血液・体液用薬	51	60	80	88	97	89	89	18.5	32.4	10.4	10.1	▲ 8.3	0.4
39 その他の代謝性医薬品	65	73	85	80	90	92	97	12.3	15.7	▲ 5.4	13.0	1.5	5.4
396 糖尿病用剤	28	28	33	26	29	28	28	▲ 1.7	18.3	▲ 21.4	12.4	▲ 2.0	0.5
399 他に分類されない代謝性医薬品	24	31	38	42	48	51	56	29.7	22.1	9.8	13.6	6.5	10.5
42 腫瘍用薬	27	28	33	31	39	40	45	3.8	19.5	▲ 5.3	23.0	2.4	13.9
422 代謝拮抗剤	0	1	1	1	5	8	12	47.7	▲ 5.2	0.8	682.5	63.7	39.8
429 その他の腫瘍用薬	26	27	32	31	33	30	31	3.1	20.7	▲ 5.2	8.8	▲ 10.8	5.4
44 アレルギー用薬	50	61	69	75	98	98	100	21.3	12.4	10.0	30.0	0.1	1.6
52 漢方製剤	－	－	－	－	－	－	－	・	・	・	・	・	・
61 抗生物質製剤	17	23	26	26	27	25	25	30.4	13.5	0.9	2.4	▲ 8.0	0.0
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	6	9	10	11	11	10	10	41.3	14.7	2.5	4.1	▲ 7.3	0.2
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	10	13	14	14	13	12	11	25.8	13.0	▲ 2.9	▲ 4.0	▲ 11.9	▲ 3.8
62 化学療法剤	14	17	23	21	25	25	25	25.7	32.9	▲ 8.9	17.1	1.6	0.5
624 合成抗菌剤	3	4	10	9	9	8	8	26.4	130.3	▲ 11.7	1.3	▲ 9.4	▲ 3.2
625 抗ウイルス剤	2	5	6	6	9	11	11	149.6	13.1	▲ 2.9	52.2	22.0	2.3

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

10－2. 薬効分類別の状況(7)(内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、呼吸器官用薬の54.4%が最も高く、次いでアレルギー用薬の38.8%となっている。対前年度差は、泌尿生殖器官および肛門用薬が＋6.7%で最も高く、消化器官用薬が▲1.7%で最も低い。

表10-2 内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)							対前年度差(%)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
内服薬 総数	12.3	14.4	15.2	16.7	19.2	20.5	20.8	2.1	0.9	1.5	2.5	1.2	0.3
11 中枢神経系用薬	8.3	9.6	10.4	11.5	12.3	12.9	15.2	1.3	0.8	1.1	0.8	0.6	2.4
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	15.2	20.8	23.6	26.8	28.5	31.7	33.4	5.6	2.7	3.2	1.7	3.2	1.7
114 解熱鎮痛消炎剤	8.6	10.2	10.7	12.0	12.5	14.6	21.7	1.6	0.5	1.3	0.6	2.0	7.1
116 抗パーキンソン剤	3.4	3.9	4.1	5.0	6.4	8.9	9.7	0.5	0.2	0.8	1.4	2.5	0.8
117 精神神経用剤	6.6	7.3	8.1	10.8	12.3	12.5	17.0	0.7	0.8	2.7	1.5	0.2	4.5
119 その他中枢神経系用薬	10.0	11.4	12.5	11.8	11.9	10.8	10.6	1.4	1.1	▲ 0.7	0.2	▲ 1.2	▲ 0.2
21 循環器官用薬	12.2	16.3	19.7	21.4	28.0	35.0	35.9	4.0	3.4	1.7	6.6	7.0	0.9
212 不整脈用剤	12.9	16.9	20.4	25.2	29.4	41.3	46.3	4.0	3.4	4.8	4.2	11.8	5.1
214 血圧降下剤	3.9	8.4	13.3	15.9	25.7	36.6	39.0	4.4	5.0	2.5	9.9	10.9	2.4
217 血管拡張剤	36.1	44.0	49.9	55.2	59.9	65.1	68.6	8.0	5.9	5.3	4.7	5.2	3.5
218 高脂血症用剤	15.8	19.8	21.3	21.0	27.6	36.5	36.1	4.1	1.5	▲ 0.3	6.6	8.9	▲ 0.3
22 呼吸器官用薬	20.7	29.8	33.1	39.7	43.4	50.4	54.4	9.0	3.3	6.6	3.7	7.1	4.0
23 消化器官用薬	25.1	29.6	31.5	32.9	32.3	33.0	31.2	4.5	1.9	1.4	▲ 0.7	0.7	▲ 1.7
232 消化性潰瘍用剤	24.8	29.9	31.9	32.6	31.8	32.4	30.8	5.1	2.0	0.7	▲ 0.8	0.7	▲ 1.6
239 その他の消化器官用薬	7.7	11.4	14.8	20.0	20.7	21.2	21.1	3.7	3.3	5.2	0.7	0.5	▲ 0.1
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	3.0	2.7	3.1	4.8	12.9	16.0	17.1	▲ 0.3	0.4	1.7	8.1	3.1	1.1
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	7.5	7.5	9.4	9.8	10.0	9.4	16.1	▲ 0.0	1.9	0.4	0.2	▲ 0.6	6.7
31 ビタミン剤	37.7	34.8	32.4	29.7	28.0	25.9	24.3	▲ 3.0	▲ 2.3	▲ 2.7	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 1.6
32 滋養強壮薬	4.7	5.5	6.2	7.0	7.5	8.3	8.4	0.9	0.7	0.8	0.5	0.7	0.1
325 蛋白アミノ酸製剤	2.9	3.2	3.5	3.7	4.0	4.0	4.0	0.3	0.4	0.2	0.3	0.1	▲ 0.0
33 血液・体液用薬	13.0	14.6	18.4	22.4	23.4	22.3	21.2	1.6	3.9	4.0	1.0	▲ 1.1	▲ 1.1
39 その他の代謝性医薬品	9.1	10.1	10.9	10.4	11.1	11.2	10.9	0.9	0.8	▲ 0.5	0.6	0.1	▲ 0.3
396 糖尿病用剤	8.3	7.9	8.6	6.7	7.1	6.9	6.4	▲ 0.4	0.7	▲ 1.8	0.3	▲ 0.1	▲ 0.5
399 他に分類されない代謝性医薬品	8.3	10.6	12.3	13.7	14.6	15.7	16.1	2.3	1.7	1.4	0.9	1.0	0.4
42 腫瘍用薬	9.5	9.1	9.6	8.9	10.0	9.3	8.9	▲ 0.4	0.5	▲ 0.7	1.1	▲ 0.7	▲ 0.4
422 代謝拮抗剤	0.8	1.3	1.2	1.4	12.1	24.1	39.7	0.5	▲ 0.0	0.1	10.7	12.0	15.6
429 その他の腫瘍用薬	12.3	11.1	11.4	10.3	9.9	7.7	6.6	▲ 1.2	0.3	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 2.2	▲ 1.1
44 アレルギー用薬	14.3	17.9	19.6	24.7	32.9	37.8	38.8	3.6	1.7	5.1	8.2	4.9	1.0
52 漢方製剤	－	－	－	－	－	－	－	・	・	・	・	・	・
61 抗生物質製剤	14.2	20.4	23.8	27.9	31.3	34.6	37.0	6.2	3.4	4.1	3.5	3.3	2.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	11.5	17.5	20.5	24.8	28.7	31.8	34.7	6.0	3.0	4.3	3.9	3.1	2.9
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	19.3	29.0	33.0	39.5	44.0	49.3	53.1	9.7	4.0	6.5	4.4	5.4	3.8
62 化学療法剤	7.4	7.6	4.0	5.4	8.3	9.1	11.1	0.2	▲ 3.7	1.4	3.0	0.7	2.0
624 合成抗菌剤	6.0	8.1	19.7	21.1	24.0	27.7	29.3	2.0	11.6	1.4	2.9	3.7	1.6
625 抗ウイルス剤	2.2	3.6	1.2	1.8	3.8	4.9	6.5	1.5	▲ 2.4	0.6	2.0	1.1	1.7

注)表示していない項目(薬効)がある。

11. 都道府県別の状況(1)(調剤医療費の内訳)

調剤医療費の内訳を都道府県別にみると、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も高い高知県では、技術料の割合が22.7%、薬剤料の割合が77.2%となっていた。一方、最も低い佐賀県では技術料の割合が30.6%、薬剤料の割合が69.3%となっていた。

薬剤料全体の伸び率が+4.2%(最高:沖縄県+6.9%、最低:山梨県+1.0%)であるのに対し、後発医薬品の伸び率は+7.0%(最高:山梨県+9.8%、最低:岩手県+4.1%)であった。

表11-1 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳　　令和元年度

	総額 (単位:億円)								処方箋1枚当たり (単位:円)				
	調剤医療費								調剤医療費				
		技術料	構成割合(%)	薬剤料	後発医薬品	構成割合(%)	特定保険医療材料料	構成割合(%)		技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料料
全国	77,025	19,771	25.7	57,114	10,959	74.1	140	0.2	9,184	2,357	6,810	1,307	17
北海道	3,810	861	22.6	2,942	596	77.2	7	0.2	10,897	2,462	8,416	1,704	20
青森	954	240	25.1	712	141	74.7	2	0.2	9,506	2,389	7,097	1,402	21
岩手	856	211	24.6	644	142	75.2	1	0.2	9,897	2,439	7,441	1,646	17
宮城	1,490	382	25.6	1,105	228	74.2	3	0.2	9,119	2,336	6,764	1,393	19
秋田	802	188	23.4	612	123	76.3	2	0.2	10,516	2,466	8,027	1,613	23
山形	717	186	25.9	530	110	73.9	2	0.2	9,259	2,398	6,840	1,422	22
福島	1,203	300	24.9	902	184	74.9	2	0.1	9,723	2,425	7,285	1,483	13
茨城	1,772	412	23.2	1,357	256	76.6	3	0.2	10,150	2,358	7,774	1,469	18
栃木	1,036	269	26.0	765	159	73.8	2	0.2	8,832	2,297	6,521	1,354	14
群馬	1,010	254	25.1	754	153	74.7	2	0.2	9,347	2,350	6,979	1,416	17
埼玉	3,981	1,033	26.0	2,941	595	73.9	7	0.2	8,875	2,304	6,557	1,325	15
千葉	3,525	874	24.8	2,644	518	75.0	8	0.2	9,344	2,316	7,008	1,374	20
東京	8,968	2,318	25.8	6,636	1,180	74.0	15	0.2	8,823	2,280	6,528	1,161	15
神奈川	5,655	1,470	26.0	4,177	776	73.9	9	0.2	8,826	2,294	6,519	1,211	14
新潟	1,376	362	26.3	1,011	216	73.5	3	0.2	8,971	2,360	6,594	1,411	17
富山	558	135	24.2	422	83	75.6	1	0.2	10,154	2,457	7,673	1,514	24
石川	655	156	23.9	497	92	75.9	1	0.2	10,685	2,549	8,115	1,504	21
福井	374	85	22.8	288	54	76.9	1	0.3	10,647	2,427	8,192	1,531	28
山梨	507	126	24.9	380	76	74.9	1	0.2	9,351	2,329	7,007	1,401	15
長野	1,285	317	24.7	966	193	75.2	2	0.2	10,234	2,525	7,692	1,538	17
岐阜	1,147	302	26.4	843	162	73.5	2	0.2	8,885	2,343	6,527	1,252	15
静岡	2,135	576	27.0	1,555	313	72.8	4	0.2	8,716	2,352	6,349	1,277	15
愛知	3,951	1,051	26.6	2,894	549	73.2	6	0.2	8,763	2,331	6,418	1,217	14
三重	986	261	26.5	723	143	73.3	2	0.2	8,891	2,357	6,517	1,285	17
滋賀	791	197	25.0	590	114	74.6	3	0.4	9,613	2,400	7,176	1,386	37
京都	1,488	335	22.5	1,149	193	77.2	4	0.3	10,795	2,431	8,335	1,403	29
大阪	5,409	1,374	25.4	4,025	712	74.4	9	0.2	9,422	2,394	7,011	1,241	16
兵庫	3,461	899	26.0	2,556	459	73.9	5	0.2	9,066	2,356	6,696	1,202	14
奈良	645	183	28.4	461	93	71.5	1	0.1	8,429	2,394	6,024	1,219	11
和歌山	548	132	24.2	414	73	75.5	2	0.3	9,964	2,407	7,527	1,320	30
鳥取	355	90	25.5	264	51	74.3	1	0.2	9,701	2,473	7,209	1,390	18
島根	474	128	27.1	345	71	72.7	1	0.2	9,426	2,553	6,852	1,418	21
岡山	1,005	276	27.5	727	147	72.3	2	0.2	8,682	2,386	6,281	1,273	16
広島	1,843	484	26.3	1,356	245	73.6	3	0.2	8,960	2,352	6,592	1,190	16
山口	937	254	27.1	682	136	72.8	1	0.1	8,886	2,407	6,467	1,286	13
徳島	423	106	25.1	316	53	74.7	1	0.2	9,695	2,438	7,239	1,220	18
香川	655	159	24.3	494	85	75.3	3	0.4	9,801	2,380	7,380	1,266	41
愛媛	801	196	24.4	603	110	75.3	2	0.3	9,775	2,389	7,358	1,339	29
高知	505	115	22.7	389	70	77.2	1	0.1	10,959	2,488	8,457	1,519	14
福岡	3,207	902	28.1	2,300	434	71.7	5	0.2	8,232	2,315	5,904	1,115	13
佐賀	552	169	30.6	382	78	69.3	1	0.2	7,796	2,385	5,399	1,100	12
長崎	931	250	26.8	680	135	73.0	2	0.2	9,050	2,428	6,607	1,310	15
熊本	1,036	284	27.4	750	156	72.4	2	0.2	8,528	2,336	6,177	1,287	15
大分	767	199	25.9	567	112	73.9	1	0.1	9,391	2,435	6,944	1,371	12
宮崎	692	190	27.5	501	107	72.4	1	0.2	8,547	2,348	6,185	1,324	14
鹿児島	980	283	28.8	697	158	71.1	1	0.1	8,423	2,428	5,985	1,360	10
沖縄	767	196	25.5	569	126	74.1	3	0.3	9,250	2,359	6,858	1,516	32

令和元年度

表11-2 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳 （対前年度比）　　（単位：%）

	総額								処方箋1枚当たり				
	調剤医療費								調剤医療費				
		技術料	構成割合	薬剤料	後発医薬品	構成割合	特定保険医療材料料	構成割合		技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料料
全　国	3.7	2.4	▲ 0.3	4.2	7.0	0.3	4.4	0.0	3.8	2.5	4.2	7.0	4.4
北海道	3.1	1.9	▲ 0.3	3.5	5.8	0.3	4.8	0.0	3.9	2.6	4.2	6.6	5.6
青　森	2.0	0.9	▲ 0.3	2.4	4.3	0.3	▲ 0.8	▲ 0.0	3.4	2.2	3.8	5.6	0.5
岩　手	2.9	1.9	▲ 0.2	3.3	4.1	0.2	3.6	0.0	3.4	2.4	3.7	4.6	4.1
宮　城	3.6	1.9	▲ 0.4	4.2	7.1	0.4	5.7	0.0	4.2	2.5	4.8	7.7	6.3
秋　田	2.2	1.1	▲ 0.3	2.5	4.3	0.3	5.8	0.0	3.6	2.5	4.0	5.7	7.3
山　形	3.1	1.8	▲ 0.3	3.6	6.0	0.3	6.5	0.0	3.7	2.3	4.1	6.5	7.1
福　島	1.9	1.5	▲ 0.1	2.1	5.9	0.1	1.6	▲ 0.0	3.2	2.7	3.3	7.2	2.9
茨　城	4.3	2.7	▲ 0.4	4.8	7.3	0.3	5.0	0.0	4.2	2.7	4.7	7.3	5.0
栃　木	2.6	2.0	▲ 0.2	2.8	6.7	0.1	9.0	0.0	3.6	2.9	3.8	7.7	10.0
群　馬	3.3	2.4	▲ 0.2	3.6	6.3	0.2	▲ 0.2	▲ 0.0	3.6	2.7	3.9	6.5	0.0
埼　玉	3.8	2.6	▲ 0.3	4.2	7.6	0.3	4.5	0.0	3.6	2.4	4.1	7.4	4.3
千　葉	3.4	2.4	▲ 0.2	3.7	7.4	0.2	5.8	0.0	4.0	3.1	4.3	8.1	6.5
東　京	3.4	2.2	▲ 0.3	3.8	8.6	0.3	1.4	▲ 0.0	3.8	2.7	4.3	9.1	1.9
神奈川	4.3	2.8	▲ 0.4	4.9	7.9	0.4	2.8	▲ 0.0	4.5	3.0	5.1	8.0	3.0
新　潟	2.7	1.3	▲ 0.4	3.2	5.3	0.4	2.5	▲ 0.0	3.4	2.0	3.9	6.0	3.2
富　山	4.9	4.1	▲ 0.2	5.1	6.2	0.2	15.1	0.0	3.7	2.9	3.9	5.0	13.8
石　川	3.3	2.4	▲ 0.2	3.6	4.7	0.2	6.0	0.0	3.5	2.6	3.8	4.9	6.2
福　井	6.2	4.4	▲ 0.4	6.8	6.3	0.5	▲ 14.4	▲ 0.1	3.9	2.2	4.5	4.0	▲ 16.3
山　梨	1.2	2.1	0.2	1.0	9.8	▲ 0.2	▲ 11.0	▲ 0.0	1.3	2.2	1.0	9.8	▲ 11.0
長　野	3.4	2.4	▲ 0.3	3.8	4.6	0.3	▲ 0.2	▲ 0.0	3.4	2.3	3.7	4.6	▲ 0.3
岐　阜	3.1	1.9	▲ 0.3	3.5	6.0	0.3	7.6	0.0	3.6	2.4	4.0	6.5	8.1
静　岡	2.8	2.2	▲ 0.2	3.0	5.5	0.2	5.6	0.0	3.2	2.6	3.4	5.9	6.0
愛　知	3.9	2.5	▲ 0.4	4.5	6.9	0.4	6.6	0.0	4.0	2.5	4.5	6.9	6.7
三　重	4.9	3.3	▲ 0.4	5.5	6.5	0.4	8.8	0.0	4.1	2.5	4.6	5.6	7.9
滋　賀	5.3	4.3	▲ 0.2	5.6	7.7	0.2	6.6	0.0	4.2	3.2	4.6	6.6	5.5
京　都	5.5	4.5	▲ 0.2	5.7	9.7	0.2	7.3	0.0	3.5	2.5	3.7	7.6	5.2
大　阪	4.5	3.1	▲ 0.3	4.9	8.6	0.4	1.1	▲ 0.0	3.1	1.7	3.6	7.2	▲ 0.2
兵　庫	4.1	2.2	▲ 0.5	4.8	6.8	0.5	2.9	▲ 0.0	3.8	2.0	4.5	6.6	2.6
奈　良	3.7	3.6	▲ 0.0	3.8	6.1	0.0	5.0	0.0	2.6	2.4	2.6	4.9	3.9
和歌山	4.7	3.0	▲ 0.4	5.3	7.7	0.4	11.7	0.0	3.9	2.1	4.4	6.8	10.7
鳥　取	2.6	2.1	▲ 0.1	2.8	6.7	0.1	2.9	0.0	3.1	2.6	3.2	7.2	3.4
島　根	3.6	3.0	▲ 0.2	3.8	6.0	0.1	5.0	0.0	3.0	2.5	3.2	5.4	4.4
岡　山	4.2	2.8	▲ 0.4	4.8	7.5	0.4	1.6	▲ 0.0	3.8	2.3	4.4	7.1	1.2
広　島	3.2	1.9	▲ 0.3	3.7	6.7	0.3	3.0	▲ 0.0	3.6	2.3	4.1	7.2	3.4
山　口	3.4	1.9	▲ 0.4	3.9	4.7	0.4	4.5	0.0	3.8	2.3	4.3	5.1	4.9
徳　島	3.6	2.7	▲ 0.2	3.9	8.1	0.2	3.5	▲ 0.0	3.0	2.2	3.3	7.5	3.0
香　川	4.2	1.7	▲ 0.6	5.0	6.2	0.6	6.7	0.0	4.5	2.0	5.3	6.5	7.1
愛　媛	4.8	2.7	▲ 0.5	5.5	6.8	0.5	14.9	0.0	4.5	2.4	5.1	6.4	14.5
高　知	3.8	0.3	▲ 0.8	4.9	7.2	0.8	10.0	0.0	5.5	1.9	6.5	8.9	11.7
福　岡	4.1	2.3	▲ 0.5	4.8	7.5	0.5	6.7	0.0	4.3	2.5	5.0	7.7	6.8
佐　賀	2.0	1.1	▲ 0.2	2.3	4.7	0.2	10.3	0.0	3.0	2.2	3.3	5.8	11.5
長　崎	3.1	2.0	▲ 0.3	3.5	5.9	0.3	1.3	▲ 0.0	3.2	2.2	3.6	6.1	1.4
熊　本	4.3	2.1	▲ 0.6	5.1	7.1	0.6	2.1	▲ 0.0	4.7	2.5	5.6	7.5	2.6
大　分	3.7	2.4	▲ 0.3	4.1	6.5	0.3	45.5	0.0	3.5	2.2	3.9	6.4	45.2
宮　崎	3.3	1.8	▲ 0.4	3.9	5.3	0.4	14.2	0.0	3.8	2.2	4.3	5.8	14.7
鹿児島	3.0	1.5	▲ 0.4	3.6	4.6	0.4	1.2	▲ 0.0	3.6	2.0	4.2	5.2	1.8
沖　縄	6.0	3.5	▲ 0.6	6.9	7.9	0.6	4.7	▲ 0.0	3.8	1.4	4.7	5.7	2.6

注）構成割合は対前年度差を示している。

12. 都道府県別の状況(2)(内服薬　処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、高知県が7,004円と最も高く、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、3.08、27.6日、82円となっていた。一方、佐賀県が4,384円と最も低く、3要素に分解すると、2.86、20.6日、75円となっていた。

表12 都道府県別 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解　　令和元年度

	実額				対前年度比 (単位:%)			
	処方箋1枚当たり薬剤料 (円)				処方箋1枚当たり薬剤料			
		処方箋1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数(日)	1種類1日当たり薬剤料(円)		処方箋1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数	1種類1日当たり薬剤料
全国	5,478	2.79	25.0	79	3.9	▲ 0.3	3.6	0.5
北海道	6,814	3.06	29.6	75	3.5	▲ 0.7	3.7	0.6
青森	5,899	2.86	26.9	77	4.0	▲ 0.8	4.0	0.8
岩手	6,144	2.86	29.4	73	3.2	▲ 0.0	2.8	0.4
宮城	5,422	2.77	26.0	75	4.9	▲ 0.1	3.8	1.3
秋田	6,610	3.00	29.4	75	3.6	▲ 0.7	3.2	1.0
山形	5,612	2.77	26.6	76	3.8	0.1	3.3	0.3
福島	6,007	2.94	27.2	75	3.2	▲ 0.7	3.7	0.2
茨城	6,357	2.84	27.8	81	4.1	▲ 0.1	3.8	0.4
栃木	5,357	2.82	24.9	76	3.5	0.3	3.9	▲ 0.7
群馬	5,653	2.86	25.5	78	3.8	0.1	3.6	0.2
埼玉	5,284	2.71	25.5	76	3.9	▲ 0.2	4.0	0.1
千葉	5,668	2.67	26.9	79	4.1	▲ 0.1	4.2	0.0
東京	5,208	2.66	24.0	82	4.0	▲ 0.4	3.9	0.5
神奈川	5,194	2.60	25.1	80	4.9	▲ 0.1	4.1	0.8
新潟	5,311	2.61	28.0	73	3.4	▲ 0.7	3.9	0.2
富山	6,310	2.81	28.3	79	3.8	▲ 0.2	3.1	0.9
石川	6,683	2.99	27.6	81	3.6	▲ 0.6	3.2	1.0
福井	6,814	2.97	27.5	84	4.3	▲ 0.5	2.7	2.1
山梨	5,719	2.71	28.0	75	0.5	0.0	3.3	▲ 2.7
長野	6,230	2.80	28.7	77	3.2	▲ 0.0	2.8	0.4
岐阜	5,206	2.86	23.8	76	3.7	▲ 0.2	3.8	0.0
静岡	5,065	2.66	25.3	75	3.3	0.1	3.2	▲ 0.0
愛知	5,088	2.74	23.1	80	4.1	▲ 0.4	4.1	0.5
三重	5,279	2.77	24.4	78	4.2	▲ 0.4	3.4	1.1
滋賀	5,694	2.69	26.7	79	3.8	▲ 0.6	3.6	0.8
京都	6,629	2.87	26.5	87	2.6	▲ 0.4	2.7	0.2
大阪	5,604	2.90	23.2	83	3.3	▲ 0.5	3.2	0.6
兵庫	5,259	2.71	23.9	81	3.8	▲ 0.5	3.4	1.0
奈良	4,874	2.70	25.3	71	2.7	▲ 0.3	3.1	▲ 0.2
和歌山	6,071	2.90	25.9	81	4.0	▲ 0.6	3.1	1.5
鳥取	5,967	2.86	25.1	83	2.6	▲ 0.2	3.1	▲ 0.3
島根	5,620	2.98	25.0	75	2.6	▲ 1.0	3.1	0.5
岡山	5,099	2.89	23.8	74	3.9	▲ 0.5	4.0	0.5
広島	5,254	2.85	22.8	81	3.3	▲ 0.6	3.9	0.1
山口	5,234	2.76	24.1	79	3.9	▲ 0.3	3.5	0.6
徳島	5,849	2.97	23.7	83	2.2	▲ 0.5	2.9	▲ 0.2
香川	5,946	2.79	24.5	87	4.7	▲ 0.3	3.5	1.4
愛媛	5,883	2.74	25.7	84	4.4	▲ 0.2	3.3	1.2
高知	7,004	3.08	27.6	82	6.1	0.8	3.0	2.2
福岡	4,768	2.88	21.2	78	4.9	▲ 0.2	3.8	1.2
佐賀	4,384	2.86	20.6	75	3.2	▲ 0.2	3.7	▲ 0.3
長崎	5,293	3.00	23.7	74	3.1	▲ 0.2	3.1	0.2
熊本	5,037	3.03	22.5	74	5.9	▲ 0.4	4.0	2.3
大分	5,700	3.11	23.7	77	3.6	0.2	2.8	0.7
宮崎	4,942	2.86	23.8	73	4.3	0.0	3.5	0.8
鹿児島	4,864	2.96	23.1	71	4.1	0.3	3.2	0.5
沖縄	5,354	2.75	26.6	73	3.4	▲ 0.6	3.2	0.8

13. 都道府県別の状況(3)(後発医薬品割合)

令和元年度末における後発医薬品割合を都道府県別にみると、数量ベース(新指標)で最も高かったのは沖縄県の88.7%であった。また、薬剤料ベースで最も高かったのは鹿児島県の22.0%であった。一方、数量ベース(新指標)で最も低かったのは徳島県の74.3%であり、薬剤料ベースが最も低かったのは京都府の16.3%であった。

対前年同期差をみると、数量ベース(新指標)、薬剤料ベースともに最も高かったのは山梨県であり、それぞれ+5.2%、+0.5%であった。一方、数量ベース(新指標)で最も低かったのは鹿児島県の+2.0%、薬剤料ベースで最も低かったのは熊本県の▲1.7%であった。

令和元年3月

表13 都道府県別 後発医薬品割合 (単位:%)

	後発医薬品割合			後発医薬品調剤率	対前年同期差			
	数量ベース(新指標)	数量ベース(旧指標)	薬剤料ベース		数量ベース(新指標)	数量ベース(旧指標)	薬剤料ベース	後発医薬品調剤率
全 国	80.4	55.4	18.6	75.7	2.8	1.5	▲ 1.0	2.0
北海道	81.9	57.1	19.6	78.7	2.8	1.5	▲ 1.2	1.6
青 森	80.8	56.3	19.2	77.3	2.4	1.2	▲ 0.9	1.5
岩 手	85.6	59.2	21.3	79.5	2.2	1.1	▲ 1.4	1.1
宮 城	83.5	56.5	19.8	78.2	2.7	1.4	▲ 1.2	1.7
秋 田	81.5	56.2	19.4	78.3	2.9	1.8	▲ 1.0	1.7
山 形	84.3	58.3	20.1	78.9	2.8	1.5	▲ 1.1	2.1
福 島	81.5	56.5	19.9	79.7	3.5	2.0	▲ 0.6	2.3
茨 城	79.9	55.2	18.4	75.3	3.0	1.7	▲ 1.0	2.2
栃 木	81.7	57.2	20.2	78.2	2.9	1.8	▲ 1.1	2.2
群 馬	83.2	58.1	19.8	78.4	2.6	1.5	▲ 0.9	2.3
埼 玉	81.3	56.7	19.7	76.3	2.7	1.4	▲ 0.9	2.1
千 葉	80.9	56.0	19.1	75.6	2.8	1.6	▲ 0.8	2.1
東 京	76.6	51.3	17.3	70.5	3.1	1.7	▲ 0.6	2.5
神奈川	78.6	53.8	18.2	72.0	2.9	1.6	▲ 0.8	2.4
新 潟	82.7	57.4	20.7	78.6	2.8	1.7	▲ 1.0	1.7
富 山	83.4	57.5	19.2	78.4	2.3	1.0	▲ 1.0	1.6
石 川	81.8	55.5	17.8	76.1	2.4	1.1	▲ 1.2	1.4
福 井	83.1	57.6	18.2	77.9	2.1	1.0	▲ 1.3	1.1
山 梨	79.0	54.6	19.7	73.3	5.2	3.6	0.5	4.7
長 野	82.9	57.3	19.3	76.8	2.2	1.1	▲ 1.2	1.8
岐 阜	78.9	54.1	18.8	76.8	2.8	1.3	▲ 1.2	1.7
静 岡	81.6	56.8	19.8	76.7	2.5	1.3	▲ 0.8	1.6
愛 知	80.9	55.0	18.4	77.0	2.7	1.1	▲ 1.2	1.4
三 重	81.4	56.8	19.2	76.7	2.2	0.8	▲ 1.5	1.3
滋 賀	81.0	56.8	18.8	76.1	2.8	1.4	▲ 1.5	1.7
京 都	78.3	53.7	16.3	73.6	2.6	1.3	▲ 1.2	2.2
大 阪	78.2	54.0	17.2	74.0	3.1	1.6	▲ 0.9	2.3
兵 庫	79.6	55.1	17.4	74.3	2.8	1.5	▲ 1.1	2.0
奈 良	78.3	55.3	19.5	73.3	2.1	1.0	▲ 1.3	1.3
和歌山	78.5	53.9	17.0	73.8	2.7	1.5	▲ 0.9	1.7
鳥 取	83.4	58.1	18.4	76.2	2.5	1.6	▲ 1.2	2.0
島 根	84.4	59.1	20.1	78.4	2.6	1.4	▲ 0.7	1.5
岡 山	81.8	56.7	19.7	77.1	2.3	1.1	▲ 1.0	1.9
広 島	78.2	52.9	17.6	74.9	2.8	1.4	▲ 1.0	1.9
山 口	82.3	57.2	19.3	78.4	2.5	1.2	▲ 1.4	1.5
徳 島	74.3	51.6	16.8	73.3	3.5	2.2	▲ 0.4	2.7
香 川	78.3	53.5	16.6	74.3	2.9	1.7	▲ 1.0	1.8
愛 媛	81.4	56.7	17.4	76.5	2.7	1.5	▲ 1.5	1.9
高 知	77.1	53.9	17.4	74.8	3.6	2.3	▲ 1.3	3.3
福 岡	81.3	55.5	18.2	76.9	2.6	1.3	▲ 1.2	1.6
佐 賀	82.9	57.1	19.6	78.7	2.3	0.9	▲ 1.3	1.6
長 崎	82.0	56.4	19.4	78.0	2.8	1.5	▲ 0.8	1.9
熊 本	83.4	58.7	19.9	81.2	3.1	1.9	▲ 1.7	1.8
大 分	80.9	56.8	19.3	78.4	2.8	1.7	▲ 0.8	2.1
宮 崎	84.4	59.1	20.6	80.9	2.4	1.2	▲ 1.3	1.6
鹿児島	86.0	60.9	22.0	81.6	2.0	0.7	▲ 1.5	1.1
沖 縄	88.7	63.9	21.4	82.9	2.1	0.8	▲ 1.4	0.7

14. 処方箋発行元医療機関別分析

調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科病院が3兆2,016億円であり、医科診療所が4兆4,760億円であった。医科診療所の中では、内科が2兆3,629億円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費は、医科診療所が6,914円であったのに対し、医科病院が17,472円と高く、中でも大学病院が31,675円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費は、全ての区分で上昇した。特に大学病院の伸び率が大きく、＋9.5%であった。

令和元年度末の後発医薬品割合（数量ベース、新指標）をみると、病院では81.0%、診療所では80.1%であった。医科の中で最も高かったのは産婦人科の85.0%であり、最も低かったのは大学病院の72.7%であった。医科の中で伸び幅が最も大きかったのは小児科の＋4.1%であり、最も小さかったのは眼科の＋2.2%であった。

表14-1 調剤医療費の内訳 （総額）

令和元年度

		総数	医科								診療所										歯科		
				病院																		病院	診療所
					大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他			
実数	調剤医療費（億円）	77,025	76,776	32,016	5,670	13,487	12,755	104	9,558	22,458	44,760	23,629	1,801	1,649	3,350	2,600	418	1,892	2,688	6,734	159	68	91
	処方箋枚数（受付回数）（万枚）	83,869	83,066	18,324	1,790	6,403	10,030	100	8,129	10,195	64,742	27,665	4,344	2,152	5,828	5,436	704	4,656	6,196	7,761	685	218	467
対前年度比（%）	調剤医療費	3.7	3.7	5.0	9.9	5.7	2.3	▲ 9.8	2.8	5.9	2.8	3.2	1.9	0.2	3.3	7.0	11.5	0.8	▲ 2.4	3.0	4.3	8.2	1.6
	処方箋枚数（受付回数）	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.9	0.4	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 13.5	▲ 0.2	▲ 1.4	0.1	0.2	▲ 1.6	▲ 2.4	1.1	2.4	4.5	▲ 1.3	▲ 3.4	2.7	2.2	8.0	▲ 0.3

注1） 「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。
注2） 処方箋発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。

令和2年3月
（単位：%）

表14-2 後発医薬品割合

		総数	医科								診療所										歯科		
				病院																		病院	診療所
					大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他			
実数	数量ベース（新指標）	80.4	80.4	81.0	72.7	81.8	82.2	79.1	81.9	80.4	80.1	81.1	79.0	80.9	77.5	77.6	85.0	77.5	83.9	77.2	86.4	89.6	83.1
	薬剤料ベース	18.6	18.6	14.6	8.9	13.4	19.1	19.7	20.3	12.6	22.2	22.4	21.4	23.5	21.2	19.9	26.4	19.2	30.2	20.3	32.0	25.4	43.0
対前年同期差	数量ベース（新指標）	2.8	2.8	2.9	3.3	2.8	2.9	3.3	3.0	2.8	2.7	2.7	4.1	2.4	3.0	2.3	3.1	2.2	3.6	2.9	2.5	2.3	2.6
	薬剤料ベース	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 0.5	▲ 0.9	0.0	▲ 0.9	0.1	▲ 0.7	▲ 1.2	0.6	2.9	▲ 0.1	1.0	0.5	1.9

注1） 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注2） 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

表14-3 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合　　令和元年度

		総数	医科								診療所										歯科		
				病院					200床未満	200床以上		内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他		病院	診療所
					大学病院	公的病院	法人病院	個人病院															
実数（円）	調剤医療費	9,184	9,243	17,472	31,675	21,062	12,716	10,426	11,758	22,029	6,914	8,541	4,147	7,661	5,747	4,782	5,937	4,063	4,338	8,677	2,322	3,129	1,945
	技術料	2,357	2,364	2,613	2,535	2,604	2,634	2,520	2,631	2,599	2,294	2,577	2,096	2,458	1,959	1,960	2,007	1,395	2,053	2,595	1,503	1,514	1,498
	構成割合（%）	25.7	25.6	15.0	8.0	12.4	20.7	24.2	22.4	11.8	33.2	30.2	50.6	32.1	34.1	41.0	33.8	34.3	47.3	29.9	64.7	48.4	77.0
	調剤技術料	1,881	1,888	2,125	2,025	2,108	2,155	2,040	2,160	2,098	1,821	2,119	1,570	2,000	1,491	1,468	1,529	925	1,557	2,119	1,006	1,019	1,000
	調剤基本料	676	676	623	554	625	634	620	643	606	690	698	696	692	681	656	723	682	697	688	686	601	726
	調剤料	1,031	1,037	1,255	1,289	1,239	1,260	1,209	1,260	1,252	976	1,242	604	1,157	775	568	755	237	768	1,248	315	407	272
	加算料	174	175	247	182	245	261	211	257	240	155	179	270	150	34	244	51	6	92	183	5	11	2
	薬学管理料	477	476	488	509	495	479	479	471	501	473	458	527	458	468	491	477	470	496	476	497	495	498
	薬剤料	6,810	6,862	14,808	29,027	18,387	10,054	7,892	9,103	19,356	4,613	5,950	2,049	5,199	3,787	2,822	3,930	2,667	2,285	6,079	818	1,614	446
	構成割合（%）	74.1	74.2	84.7	91.6	87.3	79.1	75.7	77.4	87.9	66.7	69.7	49.4	67.9	65.9	59.0	66.2	65.7	52.7	70.1	35.2	51.6	23.0
	内服薬	5,487	5,529	12,245	22,549	15,310	8,505	6,523	7,656	15,904	3,629	5,057	1,296	4,459	2,779	1,263	3,502	179	1,718	5,515	660	1,308	357
	屯服薬他	41	41	66	91	73	57	37	46	82	34	42	15	38	14	3	23	1	11	91	35	46	29
	注射薬	423	427	1,406	4,800	1,743	594	432	497	2,130	150	209	127	91	409	55	36	3	3	56	12	36	1
	外用薬	858	864	1,092	1,587	1,261	897	900	904	1,241	800	642	612	610	585	1,501	368	2,485	554	417	112	225	59
	（再掲）後発医薬品	1,307	1,316	2,268	2,734	2,594	1,983	1,586	1,901	2,560	1,046	1,365	455	1,246	807	567	1,068	549	720	1,258	253	397	186
	特定保険医療材料料	17	17	52	113	71	28	15	24	73	7	15	1	4	2	0	0	0	0	3	0	1	0
	構成割合（%）	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.2	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	調剤医療費	3.8	3.8	5.9	9.5	6.9	3.2	4.4	3.0	7.4	2.7	2.9	3.6	2.7	2.3	4.4	6.7	2.2	1.0	0.3	2.0	0.2	1.8
	技術料	2.5	2.5	2.5	2.1	2.4	2.6	2.2	2.7	2.4	2.5	2.5	2.4	2.4	2.6	2.6	2.0	2.3	2.1	2.0	2.9	2.9	2.9
	構成割合（%）	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.1	0.1	▲ 0.7	▲ 1.6	0.0	0.5	0.5	0.6	1.3	0.8
	調剤技術料	3.2	3.2	3.2	2.7	3.1	3.3	3.0	3.4	3.0	3.3	3.2	3.3	3.0	3.5	3.6	2.8	3.8	3.0	2.5	4.5	4.5	4.5
	調剤基本料	6.3	6.3	8.2	9.0	8.3	8.1	5.5	7.8	8.5	5.7	5.7	5.8	5.7	5.9	6.8	5.4	5.5	4.8	6.3	6.6	9.5	6.1
	調剤料	1.3	1.3	0.5	0.1	0.3	0.7	0.9	0.8	0.3	1.6	1.6	2.7	1.3	1.5	1.2	1.3	▲ 0.9	2.5	0.5	0.3	▲ 1.9	0.5
	加算料	3.4	3.4	5.0	3.3	4.7	5.4	8.1	5.9	4.2	2.8	5.2	▲ 1.2	4.6	2.5	1.0	▲ 9.4	2.7	▲ 5.7	2.2	3.1	▲ 5.3	14.7
	薬学管理料	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.1
	薬剤料	4.2	4.3	6.5	10.2	7.6	3.3	5.1	3.1	8.2	2.8	3.1	4.8	2.8	2.1	5.8	9.3	2.1	▲ 0.0	▲ 0.4	0.5	▲ 2.1	▲ 1.7
	構成割合（%）	0.3	0.3	0.5	0.6	0.5	0.1	0.5	0.1	0.6	0.1	0.1	0.6	0.1	▲ 0.1	0.7	1.6	▲ 0.0	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 0.8
	内服薬	3.9	3.9	5.9	8.8	7.1	3.0	5.2	2.9	7.4	2.6	2.8	1.7	2.9	2.7	4.8	10.4	▲ 2.9	1.4	▲ 0.5	▲ 1.3	▲ 3.9	▲ 3.3
	屯服薬他	0.3	0.3	1.5	3.3	1.1	1.2	0.1	0.3	2.3	▲ 0.2	▲ 1.0	1.7	2.1	3.1	▲ 2.6	▲ 5.9	▲ 3.2	2.1	▲ 1.8	1.4	▲ 0.5	1.3
	注射薬	16.4	16.5	18.3	21.6	18.0	13.0	6.6	11.0	20.2	14.0	12.9	25.8	7.0	3.2	633.9	6.3	18.6	9.5	9.4	3.5	▲ 2.2	12.2
	外用薬	1.6	1.6	0.5	0.3	0.5	0.4	3.5	1.0	0.3	2.1	3.0	7.9	1.6	▲ 1.5	3.3	0.6	2.5	▲ 4.2	1.2	11.6	9.6	7.6
	（再掲）後発医薬品	7.0	7.1	7.5	10.1	7.4	6.8	9.6	6.4	8.3	7.1	4.9	10.5	4.9	9.1	4.8	22.7	12.6	7.7	11.6	3.8	▲ 0.3	4.9
	特定保険医療材料料	4.4	4.5	5.4	5.1	5.4	5.1	1.5	4.1	6.1	4.2	4.4	11.3	1.8	▲ 7.9	6.9	▲ 5.5	4.3	▲ 29.1	3.7	▲ 76.6	▲ 78.8	▲ 31.4
	構成割合（%）	0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.0

注1）「調剤基本料」には、地域支援体制加算（基準調剤加算）、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算（調剤基本料に係る部分）、及び在宅患者調剤加算を含めている。
注2）「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。
注3）「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。
注4）処方箋発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。
注5）構成割合は対前年度差を示している。

15. 制度別分析

調剤医療費を制度別にみると、総額が最も大きかったのは後期高齢者の2兆7,591億円であった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も大きかったのは公費の11,884円であり、伸び率が最も大きかったのは健保組合の＋4.9%、最も小さかったのは公費の＋1.0%であった。

令和元年度末の後発医薬品割合（数量ベース、新指標）をみると、最も高かったのは公費の89.8%、最も低かったのは後期高齢者の78.6%であった。伸び幅が最も大きかったのは後期高齢者の＋3.1%、最も小さかったのは公費の＋1.7%であった。

表15-1 調剤医療費の内訳 （総額）　　令和元年度

		総数	医療保険適用計								後期高齢者	公費
				被用者保険計				国民健康保険計				
					協会一般	共済組合	健保組合		市町村国保	国保組合		
実数	調剤医療費（億円）	77,025	73,562	26,755	14,537	2,768	9,402	19,217	18,149	1,068	27,591	3,463
	処方箋枚数（受付回数）（万枚）	83,869	80,955	36,385	18,928	4,058	13,342	19,620	18,326	1,294	24,950	2,914
対前年度比（%）	調剤医療費	3.7	3.8	5.2	7.6	3.8	2.0	0.6	0.4	2.9	4.9	0.9
	処方箋枚数（受付回数）	▲ 0.1	▲ 0.1	0.3	2.8	▲ 0.7	▲ 2.8	▲ 3.3	▲ 3.4	▲ 1.2	2.1	▲ 0.1

注）「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

令和2年3月

表15-2 後発医薬品割合　　（単位：%）

		総数	医療保険適用計								後期高齢者	公費
				被用者保険計				国民健康保険計				
					協会一般	共済組合	健保組合		市町村国保	国保組合		
実数	数量ベース（新指標）	80.4	79.9	81.2	81.6	80.5	80.7	80.4	80.5	78.7	78.6	89.8
	薬剤料ベース	18.6	18.4	18.4	18.5	17.8	18.2	18.2	18.3	17.1	18.7	22.6
対前年同期差	数量ベース（新指標）	2.8	2.8	2.8	2.7	2.8	2.7	2.7	2.6	2.8	3.1	1.7
	薬剤料ベース	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 1.2

注1）「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注2） 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

表15-3 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合　　令和元年度

		総数	医療保険適用計								公費
				被用者保険計				国民健康保険計			後期高齢者	
					協会一般	共済組合	健保組合		市町村国保	国保組合		
実数（円）	調剤医療費	9,184	9,087	7,353	7,680	6,820	7,047	9,795	9,903	8,253	11,058	11,884
	技術料	2,357	2,340	2,137	2,163	2,097	2,112	2,329	2,341	2,163	2,644	2,850
	構成割合（%）	25.7	25.7	29.1	28.2	30.8	30.0	23.8	23.6	26.2	23.9	24.0
	調剤技術料	1,881	1,863	1,639	1,667	1,597	1,613	1,848	1,859	1,681	2,201	2,374
	調剤基本料	676	675	683	678	685	689	661	659	681	675	696
	調剤料	1,031	1,020	835	868	779	804	1,058	1,071	885	1,258	1,358
	加算料	174	169	122	121	132	120	128	129	115	268	319
	薬学管理料	477	477	498	495	501	500	481	481	482	443	476
	薬剤料	6,810	6,731	5,203	5,502	4,712	4,924	7,444	7,541	6,074	8,398	9,008
	構成割合（%）	74.1	74.1	70.8	71.6	69.1	69.9	76.0	76.1	73.6	75.9	75.8
	内服薬	5,487	5,417	3,917	4,205	3,400	3,662	6,120	6,221	4,686	7,051	7,438
	屯服薬他	41	39	44	45	45	42	43	43	45	30	90
	注射薬	423	421	478	504	487	437	484	481	526	289	482
	外用薬	858	853	764	748	781	783	796	795	818	1,027	999
	（再掲）後発医薬品	1,307	1,278	981	1,048	861	922	1,400	1,424	1,071	1,615	2,103
	特定保険医療材料料	17	16	13	15	10	11	22	22	16	17	26
	構成割合（%）	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
対前年度比（%）	調剤医療費	3.8	3.9	4.9	4.7	4.5	4.9	4.0	4.0	4.1	2.8	1.0
	技術料	2.5	2.4	2.7	2.6	2.5	2.7	2.3	2.3	2.5	2.1	2.8
	構成割合（%）	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.2	0.4
	調剤技術料	3.2	3.2	3.6	3.5	3.4	3.7	3.0	3.0	3.3	2.6	3.3
	調剤基本料	6.3	6.3	6.1	6.1	6.1	6.2	6.4	6.4	6.2	6.3	6.4
	調剤料	1.3	1.3	2.2	2.1	1.7	2.2	1.0	1.0	1.5	0.3	1.2
	加算料	3.4	3.2	▲ 0.4	▲ 0.6	0.1	▲ 0.2	3.4	3.6	0.9	4.5	6.3
	薬学管理料	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 0.0
	薬剤料	4.2	4.4	5.8	5.6	5.5	5.9	4.5	4.5	4.7	3.0	0.5
	構成割合（%）	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	0.2	▲ 0.4
	内服薬	3.9	4.1	4.9	4.7	3.9	5.0	4.0	4.1	3.3	3.3	0.0
	屯服薬他	0.3	0.6	0.0	1.2	▲ 1.3	▲ 1.4	1.5	1.7	▲ 0.7	1.6	▲ 3.5
	注射薬	16.4	16.5	20.3	18.8	22.6	21.4	18.4	18.0	23.6	7.4	14.5
	外用薬	1.6	1.7	3.1	3.0	3.5	3.1	1.2	1.1	2.8	0.1	▲ 1.6
	（再掲）後発医薬品	7.0	6.7	8.7	8.1	8.7	9.0	6.4	6.4	7.5	5.1	12.5
	特定保険医療材料料	4.4	4.6	5.1	4.9	4.6	4.3	4.1	4.2	3.5	5.4	1.6
	構成割合（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	0.0	▲ 0.0	0.0	0.0

注1）「調剤基本料」には、地域支援体制加算（基準調剤加算）、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算（調剤基本料に係る部分）、及び在宅患者調剤加算を含めている。
注2）「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。
注3）「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。
注4） 構成割合は対前年度差を示している。

16. 薬効分類別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）

後発医薬品割合（数量ベース、新指標）の算出対象となる医薬品（後発医薬品のある先発医薬品及び後発医薬品）の構成割合①をみると、循環器官用薬が23.8%と最も大きく、次いで消化器官用薬が18.4%を占めていた。また、これらの薬効分類における令和元年度末時点の後発医薬品割合は、それぞれ82.9%、89.0%であった。

表16 薬効分類別後発医薬品割合（新指標）　（単位：%）

	令和元年度													構成割合①(%)	構成割合②(%)
	4月～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総数	79.1	77.8	78.0	78.1	78.4	78.6	78.7	79.1	79.6	79.9	80.2	80.3	80.4	100.0	100.0
11 中枢神経系用薬	71.1	69.3	69.9	70.0	70.3	70.4	70.8	71.2	71.7	72.2	72.7	72.5	72.2	14.7	13.7
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	67.8	66.5	66.9	67.0	67.3	67.6	67.7	68.1	68.1	68.3	68.7	68.8	69.1	3.7	2.7
113 抗てんかん剤	58.0	56.6	56.7	56.9	57.5	57.7	58.0	58.4	58.6	58.6	59.0	59.3	59.2	1.3	1.4
114 解熱鎮痛消炎剤	83.1	81.6	82.1	82.2	82.6	82.5	82.8	82.9	83.2	84.0	84.8	84.3	84.1	4.1	3.5
116 抗パーキンソン剤	65.8	64.0	64.1	64.6	65.0	65.5	65.8	65.8	66.3	66.2	66.8	67.4	67.5	0.8	0.7
117 精神神経用剤	65.4	63.1	63.7	64.3	64.3	65.0	65.3	65.7	65.9	66.3	66.7	66.9	67.3	4.1	3.5
119 その他中枢神経系用薬	77.5	75.5	75.7	76.1	76.6	77.1	77.3	77.8	78.1	78.6	78.8	79.2	79.6	0.4	1.6
12 末梢神経系用薬	78.4	77.2	77.5	77.7	77.9	78.1	78.3	78.5	78.7	78.8	79.2	79.3	79.4	0.8	0.7
124 鎮痙剤	79.5	78.3	78.6	78.8	79.0	79.2	79.4	79.6	79.8	79.9	80.3	80.4	80.6	0.7	0.5
13 感覚器官用薬	65.9	64.4	65.0	65.2	65.3	65.7	65.8	66.2	66.1	66.4	66.8	67.2	67.4	1.5	1.5
131 眼科用剤	61.5	60.1	60.9	61.0	61.2	61.7	61.5	61.5	61.2	61.5	61.5	63.1	62.8	0.6	0.8
133 鎮暈剤	69.3	67.5	68.1	68.3	68.7	68.9	69.2	69.6	69.8	69.9	70.6	70.5	71.0	0.9	0.6
21 循環器官用薬	81.5	80.1	80.4	80.6	80.8	81.2	81.3	81.6	81.9	82.1	82.5	82.7	82.9	23.8	17.0
212 不整脈用剤	74.6	72.7	73.2	73.5	73.8	74.2	74.5	74.8	75.1	75.4	75.9	76.0	76.3	1.6	1.1
213 利尿剤	90.2	89.1	89.4	89.5	89.6	89.9	90.2	90.4	90.4	90.8	91.1	91.1	91.3	1.4	1.0
214 血圧降下剤	80.6	79.0	79.3	79.6	79.9	80.3	80.4	80.8	81.1	81.3	81.7	81.9	82.1	7.0	5.2
217 血管拡張剤	82.6	81.5	81.7	81.9	82.0	82.3	82.4	82.7	82.9	83.0	83.3	83.4	83.6	6.8	4.3
218 高脂血症用剤	83.0	81.6	81.9	82.1	82.4	82.7	82.9	83.2	83.4	83.6	83.9	84.1	84.3	5.6	4.0
219 その他の循環器官用薬	76.1	73.9	74.7	74.7	74.8	75.2	75.4	75.7	76.5	76.5	77.5	78.7	79.2	1.3	1.3
22 呼吸器官用薬	82.4	81.0	81.8	81.6	81.7	81.8	81.7	82.2	82.9	83.2	84.1	83.4	83.4	5.2	4.3
223 去痰剤	83.3	82.0	82.5	82.6	82.7	83.1	83.1	83.3	83.5	83.7	84.5	84.2	84.6	3.9	2.5
225 気管支拡張剤	62.0	60.3	60.9	60.9	61.1	61.5	61.4	61.5	62.3	62.8	63.9	63.6	64.3	0.7	0.5
23 消化器官用薬	88.2	87.5	87.6	87.6	87.8	88.0	88.1	88.4	88.5	88.6	88.7	88.8	89.0	18.4	15.2
231 止しゃ剤、整腸剤	98.3	98.2	98.2	98.2	98.2	98.1	98.2	98.3	98.4	98.3	98.4	98.4	98.4	1.0	2.1
232 消化性潰瘍用剤	81.6	80.5	80.8	81.0	81.1	81.4	81.5	81.8	81.9	82.1	82.4	82.4	82.6	7.8	5.9
234 制酸剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4.3	2.7
235 下剤、浣腸剤	95.7	95.4	95.5	95.5	95.6	95.7	95.6	95.8	95.7	95.8	95.9	95.9	96.0	1.5	1.4
236 利胆剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1.3	1.0
239 その他の消化器官用薬	72.0	70.8	71.0	70.8	71.2	71.1	71.4	72.6	73.1	73.0	73.2	73.4	72.8	2.3	1.8
24 ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	95.5	95.2	95.1	95.1	95.2	95.2	95.4	95.5	95.7	95.5	95.5	96.2	96.1	0.5	1.7
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	78.4	69.5	71.6	73.9	77.2	78.6	79.5	80.3	81.0	81.6	82.1	82.6	82.9	1.4	1.7
259 その他の泌尿生殖器官および肛門用薬	76.9	67.0	69.4	71.9	75.7	77.3	78.3	79.2	79.8	80.4	80.9	81.4	81.9	1.2	1.4
26 外皮用薬	52.6	50.7	51.3	51.8	52.0	52.3	52.7	53.1	53.1	53.2	53.7	53.7	53.9	8.5	6.2
264 鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	53.3	51.4	51.9	52.4	52.6	52.9	53.2	53.7	53.8	54.0	54.4	54.5	54.7	7.6	5.4
31 ビタミン剤	95.9	95.6	95.7	95.7	95.8	95.9	95.9	95.9	96.0	96.0	96.0	96.1	96.1	3.7	3.8
311 ビタミンAおよびD剤	79.2	77.9	78.1	78.3	78.7	78.9	79.1	79.4	79.5	79.7	80.1	80.2	80.4	0.6	0.9
313 ビタミンB剤（ビタミンB1剤を除く）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2.7	1.9
32 滋養強壮薬	85.8	83.8	84.8	85.3	85.7	86.1	86.2	86.4	86.2	86.2	86.3	86.4	86.5	0.7	3.9
322 無機質製剤	85.5	82.5	83.8	84.5	85.1	85.5	85.7	86.1	86.1	86.4	86.7	86.8	87.1	0.5	0.5
325 蛋白アミノ酸製剤	51.8	51.5	52.3	52.4	53.0	53.4	52.9	52.9	51.9	50.8	50.7	49.9	49.7	0.1	3.1
33 血液・体液用薬	91.4	90.7	90.9	90.7	90.6	90.5	90.7	91.0	92.0	92.2	92.2	92.5	92.4	8.0	7.7
333 血液凝固阻止剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2.6	4.1
339 その他の血液・体液用薬	85.0	84.1	84.3	84.4	84.6	84.9	84.9	85.1	85.3	85.4	85.7	85.8	86.0	4.6	2.9
39 その他の代謝性医薬品	75.6	74.8	74.8	75.2	75.2	75.5	75.5	75.7	75.9	76.1	76.2	76.5	76.4	5.7	7.9
394 痛風治療剤	83.3	82.6	82.6	82.8	83.0	83.2	83.2	83.4	83.5	83.6	83.8	84.0	84.0	1.0	1.4
396 糖尿病用剤	80.3	78.9	79.1	79.5	79.7	80.0	80.1	80.4	80.7	80.9	81.1	81.3	81.6	2.9	4.7
399 他に分類されない代謝性医薬品	69.3	68.4	68.4	68.7	69.1	69.3	69.3	69.5	69.8	69.8	69.9	70.3	69.8	1.5	1.5
42 腫瘍用薬	72.9	68.2	69.2	69.7	71.1	72.1	72.8	73.6	74.4	75.0	75.4	76.1	76.4	0.3	0.3
422 代謝拮抗剤	68.4	58.9	60.8	62.3	64.9	67.0	68.4	70.3	71.7	73.3	73.8	74.7	75.5	0.1	0.1
429 その他の腫瘍用薬	74.4	71.5	72.2	72.3	73.2	74.0	74.2	74.7	75.4	75.6	76.0	76.5	76.7	0.2	0.2
44 アレルギー用薬	76.5	75.0	74.9	74.7	74.8	75.1	75.4	75.7	76.8	77.1	77.9	79.0	79.1	5.0	4.1
449 その他アレルギー用薬	76.8	75.4	75.4	75.2	75.2	75.6	76.0	76.2	76.8	77.1	78.0	79.0	79.2	4.7	3.8
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	8.2
61 抗生物質製剤	72.8	71.1	71.6	71.6	71.9	72.7	72.6	72.9	73.1	73.2	74.4	74.1	75.0	1.2	1.0
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	70.3	68.5	69.0	69.0	69.2	69.9	70.0	70.6	70.8	70.9	71.9	71.9	72.7	0.6	0.5
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	75.5	73.7	74.7	74.6	75.0	75.7	75.4	75.4	75.5	75.6	76.9	76.4	77.4	0.5	0.4
62 化学療法剤	64.9	63.1	64.1	64.3	65.0	65.3	65.4	66.0	65.8	63.6	64.7	65.8	66.6	0.5	0.5
624 合成抗菌剤	71.2	69.2	70.1	70.3	70.5	71.2	71.2	71.3	71.6	71.3	73.0	72.4	73.1	0.1	0.1
625 抗ウイルス剤	65.2	64.2	66.2	66.9	67.7	68.1	67.8	68.0	66.1	60.1	61.9	64.9	68.6	0.1	0.1

注1） 構成割合①は、新指標の分母である「後発医薬品のある先発医薬品の数量」＋「後発医薬品の数量」について、各薬効分類の令和元年度中の医薬品数量が占める割合を示している。したがって、「後発医薬品のない先発医薬品」や「その他の品目」は含まれていない。
注2） 構成割合②は、「先発医薬品」、「後発医薬品」及び「その他の品目」全てを含んだ全医薬品における、令和元年度中の構成割合（数量ベース）を示している。
注3） 「その他の品目」とは、局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）及び承認が昭和42年以前のものをいう。
注4） 表示していない項目（薬効）があるので、構成割合を足しあげても総数と一致しない。
注5） 全ての剤形を含んでいる。

（参考） 分類別構成割合（数量ベース）（令和元年度）

（単位：%）

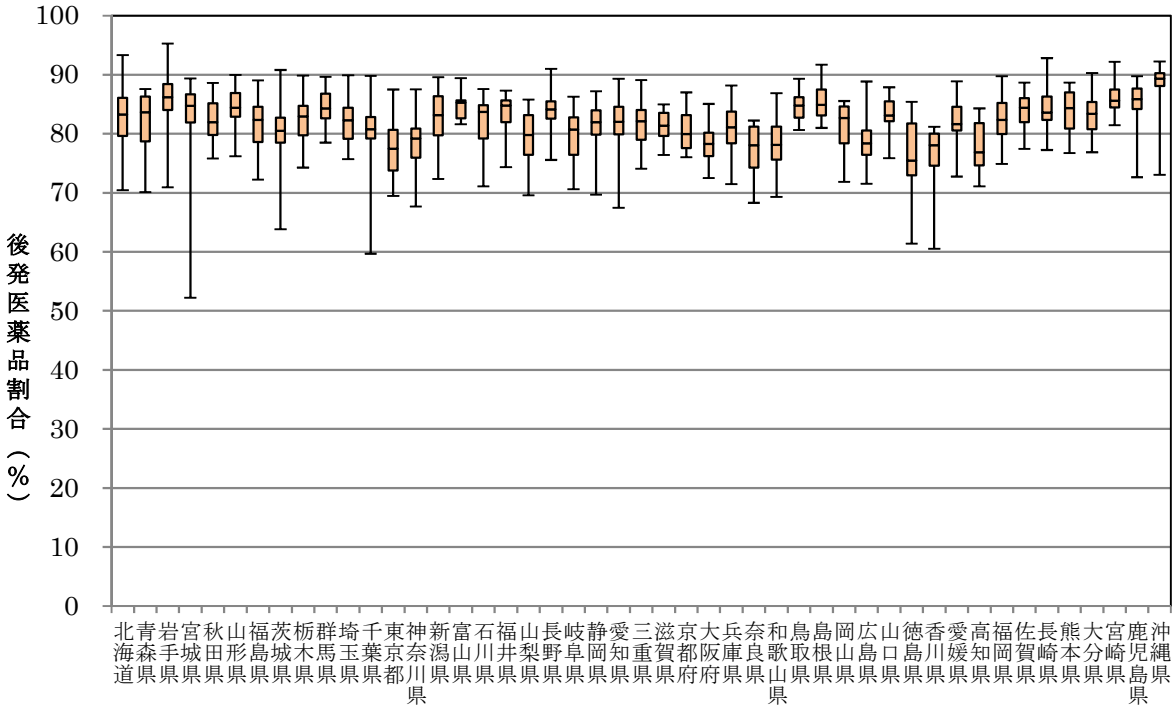
	構成割合
後発医薬品のない先発医薬品	17.7
後発医薬品のある先発医薬品	12.8
後発医薬品	48.6
その他の品目	19.6
計	100.0

１７．後発医薬品割合の市町村別状況

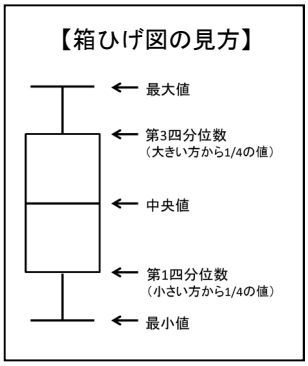
１．後発医薬品割合の都道府県別分布状況

各都道府県における、市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）の最小値、中央値、最大値等を箱ひげ図により示している。

図１　各都道府県における市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）



（注１）該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。（令和２年３月調剤分）
（注２）各市町村において、保険請求のあった薬局が３軒以下の地域は除外している。
（注３）長方形の下側の辺は第１四分位数、上側の辺は第３四分位数、中央の線は中央値、ひげの両端が最大値、最小値である。



この資料に関する詳細は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

掲載場所（URL）　http://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/19/gaiyou.html

２．後発医薬品割合の特に高い市町村

表 17　市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）　（上位 20 位）

順位	都道府県	市町村名	割合（%）
1	岩手	ｸﾉﾍｸﾞﾝｶﾙﾏｲﾏﾁ 九戸郡軽米町	95.3
2	北海道	ｱｶﾋﾞﾗｼ 赤平市	93.3
3	岩手	ﾆﾉﾍｸﾞﾝｲﾁﾉﾍﾏﾁ 二戸郡一戸町	93.2
4	長崎	ﾐﾅﾐﾏﾂｳﾗｸﾞﾝｼﾝｶﾐｺﾞﾄｳﾁｮｳ 南松浦郡新上五島町	92.8
5	岩手	ｸｼﾞｼ 久慈市	92.7
6	沖縄	ｼﾏｼﾞﾘｸﾞﾝﾖﾅﾊﾞﾙﾁｮｳ 島尻郡与那原町	92.2
7	宮崎	ｺｺﾞｳｸﾞﾝｼﾝﾄﾐﾁｮｳ 児湯郡新富町	92.2
8	北海道	ｶﾊﾞﾄｸﾞﾝｼﾝﾄﾂｶﾜﾁｮｳ 樺戸郡新十津川町	91.8
9	沖縄	ﾅﾝｼﾞｮｳｼ 南城市	91.7
10	沖縄	ﾅｶｶﾞﾐｸﾞﾝﾅｶｸﾞｽｸﾑﾗ 中頭郡中城村	91.7

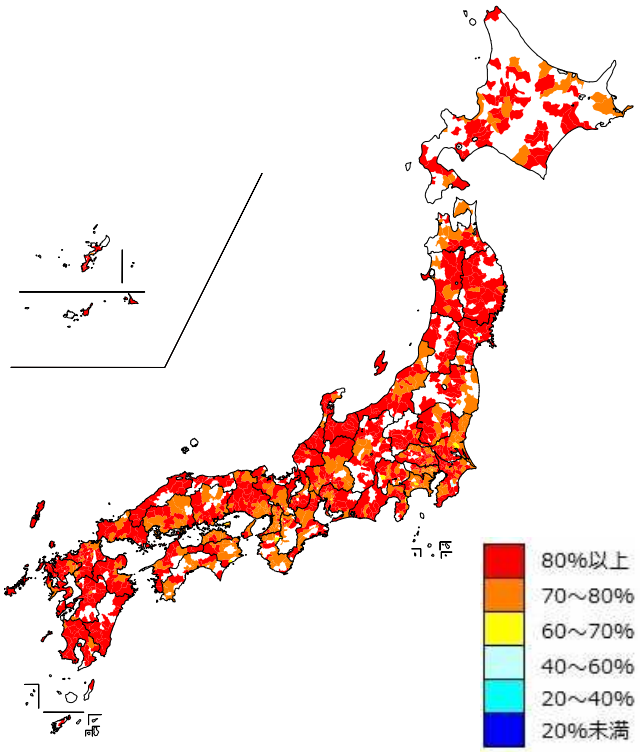
順位	都道府県	市町村名	割合（%）
11	島根	ｶﾉｱｼｸﾞﾝﾂﾜﾉﾁｮｳ 鹿足郡津和野町	91.7
12	北海道	ﾅｶｶﾞﾜｸﾞﾝﾏｸﾍﾞﾂﾁｮｳ 中川郡幕別町	91.2
13	長野	ｼﾓｲﾅｸﾞﾝﾀｶﾓﾘﾏﾁ 下伊那郡高森町	91.0
14	茨城	ﾕｳｷｸﾞﾝﾔﾁﾖﾏﾁ 結城郡八千代町	90.8
15	沖縄	ｲｼｶﾞｷｼ 石垣市	90.7
16	長崎	ﾋｶﾞｼｿﾉｷﾞｸﾞﾝﾊｻﾐﾁｮｳ 東彼杵郡波佐見町	90.4
17	沖縄	ﾅｺﾞｼ 名護市	90.3
18	大分	ﾀｹﾀｼ 竹田市	90.3
19	沖縄	ｷﾞﾉﾜﾝｼ 宜野湾市	90.3
20	岩手	ﾘｸｾﾞﾝﾀｶﾀｼ 陸前高田市	90.0

（注 1）該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。（令和２年３月調剤分）

（注 2）各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。

３．市町村別後発医薬品割合マップ

図２　市町村別後発医薬品割合マップ（数量ベース、新指標）



（注 1）該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。（令和２年３月調剤分）

（注 2）集計月において保険請求のあった薬局数が 3 軒以下の市町村は空白にしている。